



TITLE:

京大人文研藏書印譜(一)

AUTHOR(S):

井波, 陵一

CITATION:

井波, 陵一. 京大人文研藏書印譜(一). 東方學資料叢刊 2008, 16: 1-95

ISSUE DATE:

2008-02-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/65067>

RIGHT:

漢字情報研究センター
東方學資料叢刊 第16冊

京大人文研藏書印譜（一）

京都大學人文科學研究所附屬漢字情報研究センター

2008

漢字情報研究センター
東方學資料叢刊 第16冊

京大人文研藏書印譜（一）

京都大學人文科學研究所附屬漢字情報研究センター

2008

はしがき

本冊は京都大学人文科学研究所が所蔵する漢籍のうち、史部編年類各代之属から伝記類姓名年齒之属までに分類されたものより、蔵書印のある葉を選び出して作成した。このような冊子を作成するに至った経過を簡単に述べておきたい。

二〇〇三年の春であったか、当時、人文科学研究所図書掛員であった赤木俊介氏と漢字情報研究センター事務掛員であった大西賢人氏が、漢籍に関する知識をより深めたいという希望を述べられた。それがきっかけとなり、両氏と私の三人で毎週水曜日の午後に書庫の漢籍を取り出して見るといふ集まりが始まった。経部冒頭から順番に開いていったのであるが、ただ漠然と眺めていても仕方がないので、一九三八年に出版された『東方文化学院京都研究所漢籍目録』の記述が各本のどの部分を掘り所にして書かれているか、それを確かめながら進んで行くことにした。封面の記載をそのまま利用した簡単なものから、序文等の内容を吟味して記述した比較的高度なものまで、目録の記述にもじつに様々なレベルがあることを実感しながら、それなりに味わい深い時間を過ごすことができたかと思う。興味はしだいに蔵書印にまで広がり、まず文字を読み、ついでそれが誰のものであるかを特定するといったことも試みるようになった。

やがてまず赤木氏、ついで大西氏が異動となり、この集まりが果たしていた漢籍担当職員講習会内部版のような役割には一応ピリオドが打たれた。二〇〇六年春のことである。ただ、その時点ですでに所内の若手研究者も熱心に参加してくれていたので、このまま終わってしまうのは惜しいと思い、そこで改めて東方面全体に声をかけたところ、新たに参加してくれる人も現れた。かくて今もお粘り強く地道に続けられている。現在の参加者は古勝隆一、高井たかね、永田知之、藤井律之、矢木毅諸氏である。

ところで、目録記述の典拠を探ることから蔵書印のチェックへと広がった作業は、二〇〇六年四月以降、また大きく様変わりすることになった。一つは各本の「出生の秘密」を探ろうということで、序跋を丁寧に読み始めたのである。また、得られた情報を「全国漢籍データベース」に載せて利用者の役に立ててもらおうということになり、安岡孝一氏にお願いして、「京大人文研東方」の本に附された「典拠情報」というボタンをクリックするとその内容に接することができるよう仕掛けを作っていただいた。こうした作業をきちんと進めていくためには、どうしてもレジユメを作成しなければならない。別に決まったスタイルはないが、当初の目的に沿って、目録記述の根拠を確認し、蔵書印の有無を調べ、序跋の句読を切ることを基本とし、さらにそれらに関連した調査結果を添えるのが通例である。一ページで終わるものもあれば、数ページにわたるものもある。

今回の冊子は二〇〇六年四月以降に作られるようになったレジユメに基づいており、それゆえ史部編年類各代之属から伝記類姓名年齒之属までという、ある意味で中途半端な形にならざるを得なかった。ただ、こうした「中間まとめ」を試みることに

で、今後の成果をどのように蓄えていくかにつき、一定の見通しを持つことができるようになったことも確かである。
作成に当たっては、とりわけ矢木氏のご努力に負うところが大きい。また図版の整理については梶浦晋氏の協力を得た。こ
こに改めて謝意を表する。なお、漢字情報研究センターが拠点とする旧東方文化学院京都研究所の建物やその蔵書の由来につ
いては、藤井氏が東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センターの求めに応じて著された一文を参照していただければ
幸いである (<http://asj.ioc.u-tokyo.ac.jp/html/lib004.html>)。

二〇〇七年一二月

漢字情報研究センター 井波陵一

史部 編年類 各代之屬

皇朝編年備考三十卷

宋陳均撰 清白草廬鈔本

有馬玉堂圖記

32冊

「漢唐齋」白文長方印

969



皇朝國史諸書勃疏攷揭日月固將與五三載稽相
爲無窮均銜茅下士蓋嘗拜手稽首歛社肅容竊觀

皇綱

東方花學院京都研究所

帝範巨麗之萬一邇若層霄茫乎漲海有非藝管所
能窺測况以均之資秉魯鈍不能強志輯成此書深
以詮次失倫而有所乘刺是懼私質諸友朋或有謂
均者曰子志良苦力良勞其如犯三不韙乎以私家
而裒

國史以偏見而折衷諸書則借冊書重大未易編
摩而以數千萬言該之則疎諸書雜出寧免抵牾去

皇朝編年備考

清白草廬

史部 編年類 各代之屬

皇朝編年備考二十卷

宋陳均撰 清白草廬鈔本

有馬玉堂圖記

32冊

「馬玉堂」 白文方印

「笏齋」 朱文方印

皇朝編年

備考卷第一

壺山陳均編



太祖皇帝

起庚申建隆元年
止丙寅乾德四年

庚申建隆元年

是歲周禪位唐國主李景吳越王錢俶荆南高保融
湖南周行逢璋景留從效奉正朔蜀主孟昶稱廣政
二十三年南漢主劉鋹大寶三年北漢主劉鈞天會
五年

春正月甲辰上受周禪即皇帝位

辛丑朔北邊奏契丹北漢連兵犯邊周帝命上鎮宿

皇朝編年

備考卷第一

清白草廬

史部 編年類 各代之屬

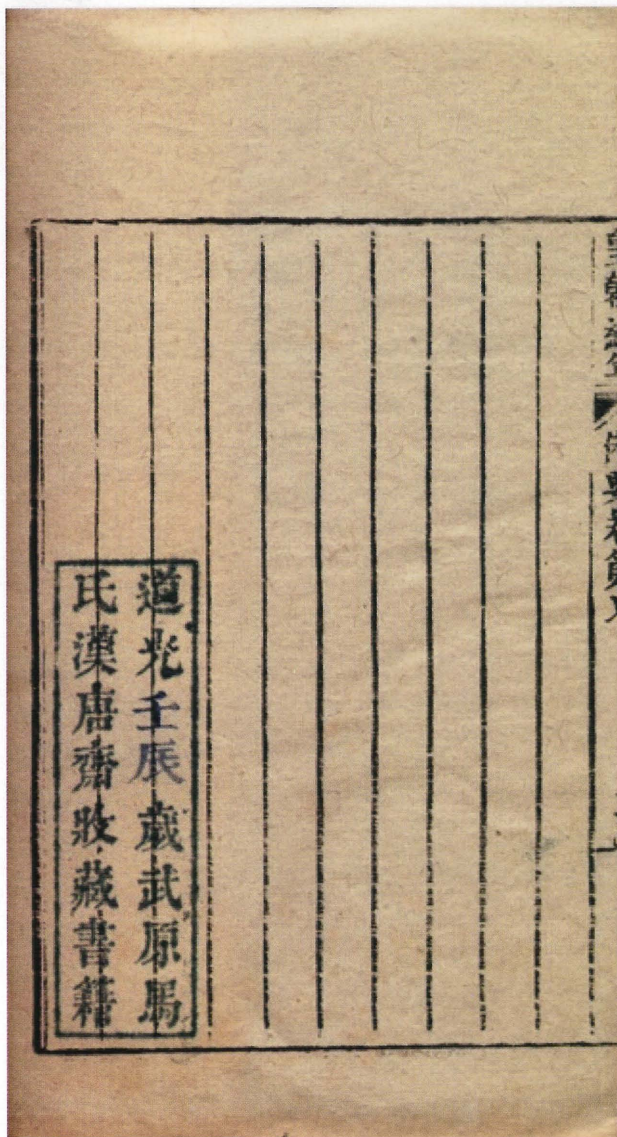
皇朝編年備考三十卷

宋陳均撰 清白草廬鈔本

32冊

有馬玉堂圖記

「道光壬辰歲武原馬氏漢唐齋收藏書籍」
藍字長方印



史部 編年類 各代之屬

皇明續紀三卷

明卜大有撰 明刊本 3册

「延陵世家」 白文長方印

2847

皇明續紀卷之上

東方學研究所藏

世宗

秀水卜大有纂述

卷上六典校正

世宗肅皇帝

正德十六年三月丙寅 武宗崩于豹房無子廷議以
興獻王長子爲 憲宗純皇帝孫倫序當立乃譔爲遺
詔遵祖訓兄終弟及之文告于宗廟請于慈壽皇太后
遣官迎取來嗣皇帝位越丁卯遣司禮太監韋輝壽寧
侯張鶴齡駙馬都尉崔元大學士梁儲禮部尚書毛澄

皇明續紀 卷上

史部 編年類 各代之屬

昭代典則二十八卷

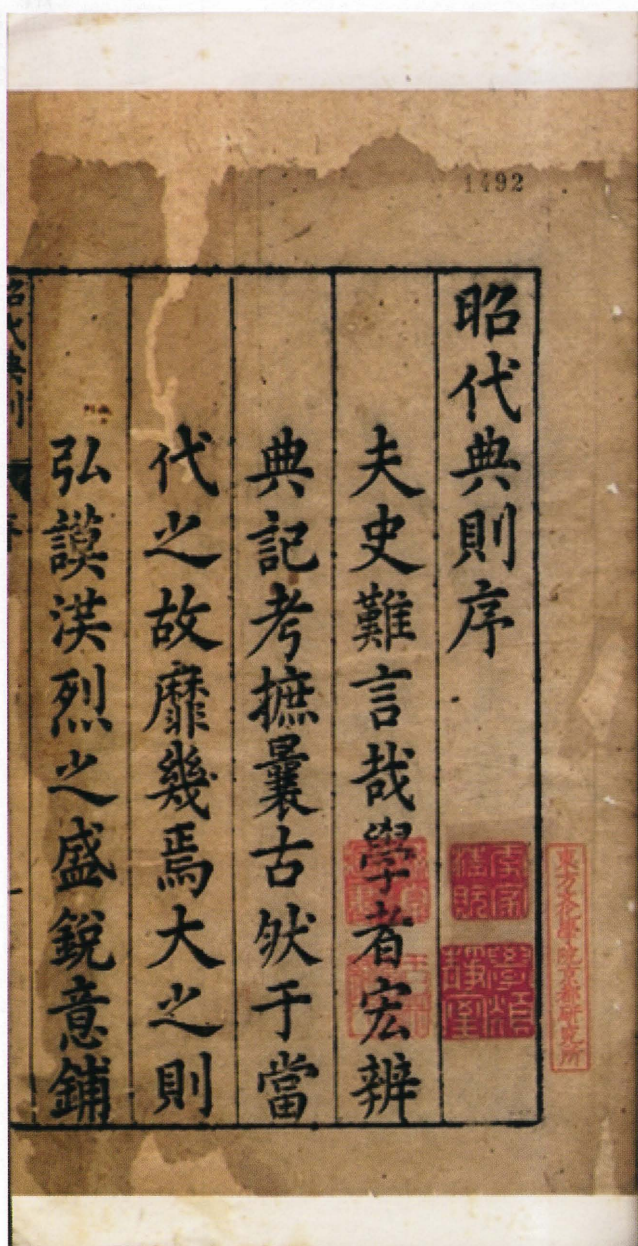
明 黃光昇 撰 萬曆二十八年序 金陵周曰校 刊本
32 冊

「李家清貺」 白文方印

「學須靜室」 白文方印

「海粟園藏書」 白文方印

「吉林索綽絡氏」 朱文方印



史部 編年類 各代之屬

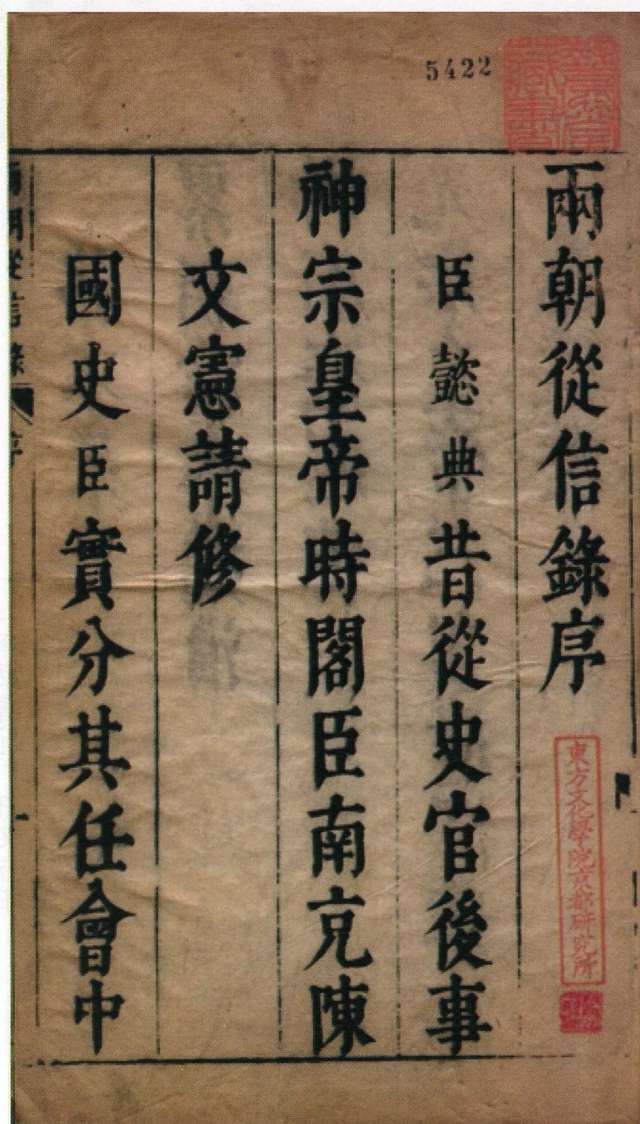
兩朝從信錄三十五卷

明 沈國元 撰 刊本 20冊

有補鈔有繆荃孫圖記

「執風堂藏書」朱文方印

「今西龍」白文方印



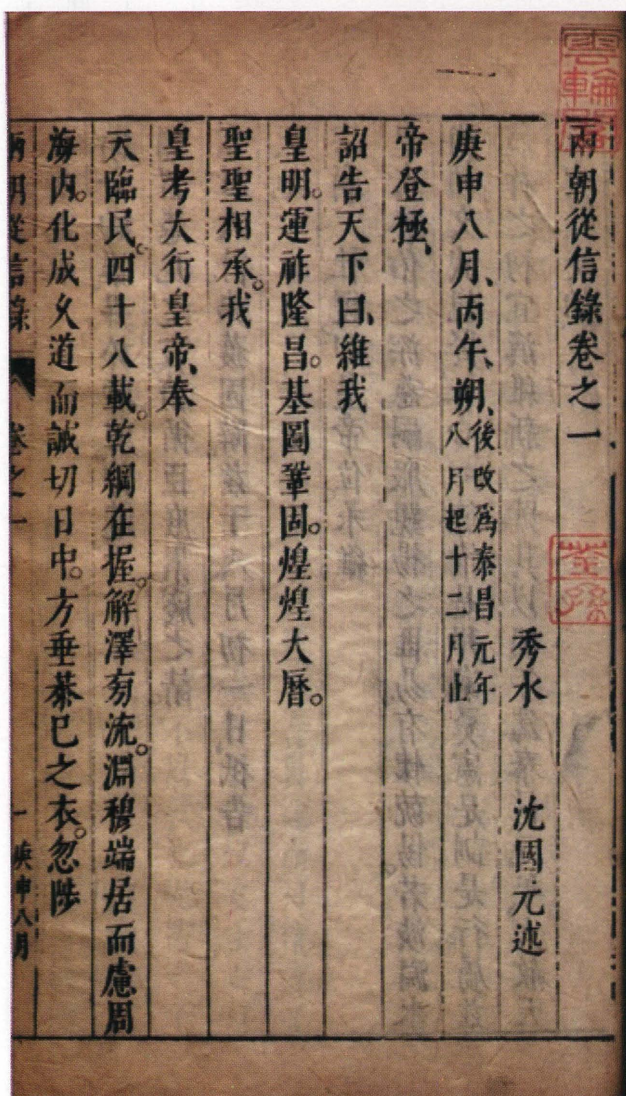
史部 編年類 各代之屬

兩朝從信錄二十五卷

明 沈國元 撰 刊本 20冊

有補鈔有繆荃孫圖記

「雲輪閣」朱文長方印
「荃孫」朱文長方印



史部 編年類 各代之屬

明紀六十卷

清 陳鶴 撰 清 孫陳克家 補

同治十年 江蘇書局 刊本 20冊

「碧香居士」 朱文方印
「桐蔭山館」 白文方印

1937

史分紀傳編年二體而紀傳為
晉書以後或奉敕或表上或詔取皆
官書編年之名亦有二曰鑑曰紀鑑
如溫公資治通鑑李鑑長編亦皆
官書鑑之者如陳王薛諸家頗不悉然
迨 國朝康熙乾隆中
御批通鑑綱目

東方文化學院京都研究所

史部 編年類 各代之屬

東華續錄二百二十卷

清 朱壽朋 撰

宣統元年 上海集成圖書公司 排印本 64冊

「富察恩豐席臣臧書印」 朱文方印

東華續錄

臣朱壽朋敬編
臣楊鴻鼎恭校

光緒二十一年

德宗景皇帝 文宗嗣子也 皇本生父 宣宗成皇帝第七子醇賢親王 皇本生母醇賢親王嫡福晉葉赫那拉氏以同治辛未六月二十八日子時誕 上於太平湖邸第 上生而神靈天挺奇表體上兌下降準頤身容智淵通志量恢達同治十一年九月庚子恭遇 穆宗毅皇帝大婚禮成欽奉 慈安皇太后 慈禧皇太后懿旨加恩賞給頭品頂戴十三年十一月 穆宗毅皇帝天花之喜諸臻康吉甲寅欽奉 慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后 慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后 穆宗毅皇帝強留時 遺詔以嗣皇帝仁孝聰明必能仰承付託 聖懷默契神器攸歸上繼三載中興書定之麻下開億萬年憲政文明之局懿懋盛哉天之篤生 聖人洵非偶已 上御極之二年受書於侍邸內閣學士翁同龢侍郎夏同善朝夕講誨 聖學日充事 兩宮皇太后盡敬竭誠歷久彌至夫日理萬幾所以濟時艱規久遠者靡不禀承 懿訓蔚為宸謨 成憲無愆新猷疊展本教學為先之義底上下交泰之隆大智大孝如天如神用是中外歸心天人協應貽子孫臣庶以無疆之福

東華續錄

光緒二十一年

史部 紀事本末類

三朝北盟會編二百五十卷

宋 徐夢莘 撰 鈔本 16冊

有張金吾潘介繁圖記

「潘萊坡圖書印」 朱文長方印

「藏園祕笈」 朱文方印

「潘氏桐西書屋之印」 朱文長方印

「碧山柏氏」 朱文方印

1068

三朝北盟集編序

嗚呼靖康之禍古未有也夷狄為未國患久矣昔在虞周猶不免有苗獫狁之征漢唐以來如冒頓之圍平城佛狸之臨瓜步頡利之盟渭上此其盛者又其甚則屠各臨洛耶律入汴而已是皆乘草昧凌遲之時未聞以全治盛際遭此其易且酷也揆厥造端誤國首惡罪有在矣迨至臨難無不恨焉當其兩河長驅而來使有以死捍敵青城變議之日使有以死拒命尚可挫其兇焰而折其姦鋒惜乎仗節死義之士僅有一二而偷生嗜利之徒雖近臣名士俯首承順唯恐其後文吏武將望風降走比比皆是使彼公肆凌藉知無人焉故也尚恐言之哉措紳草茅傷時感事忠憤所激據所聞見筆而為記錄者無慮數百家然各說有同異事有疑信深懼日月浸久是非混并臣子大節邪正莫辨一介忠疑湮沒不傳於是取諸家所及詔勅制誥書疏奏議記傳行實碑誌文集雜

史部 紀事本末類

三朝北盟會編二百五十卷

宋 徐夢莘 撰 鈔本 16冊

有張金吾潘介繁圖記

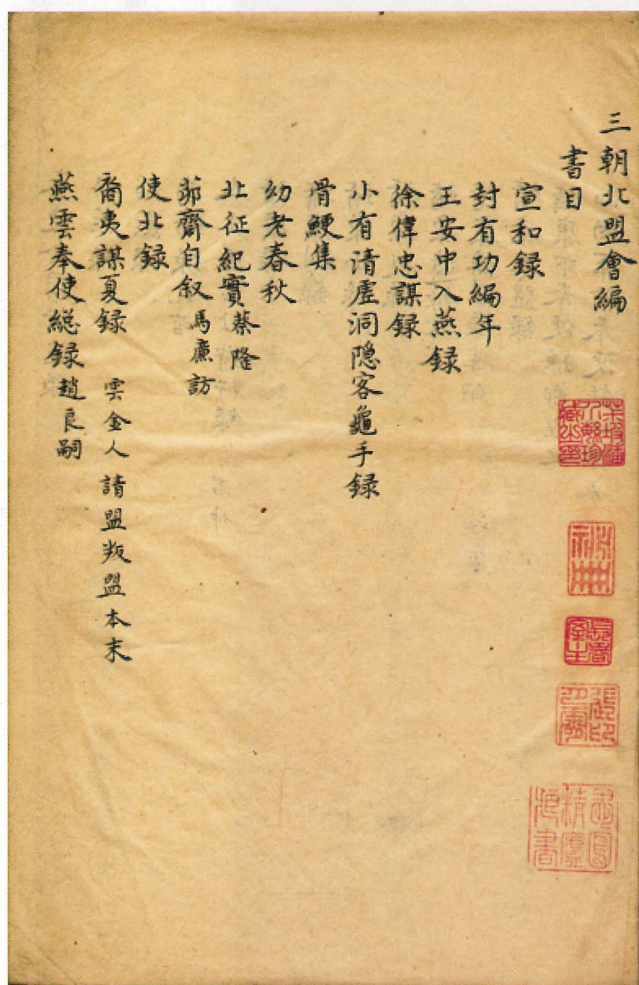
「芥坡潘介繁珍藏之印」 朱文方印

「祕冊」 朱文長方印

「長春室主」 朱文方印

「張月霄印」 朱文方印

「愛日精廬藏書」 朱文方印



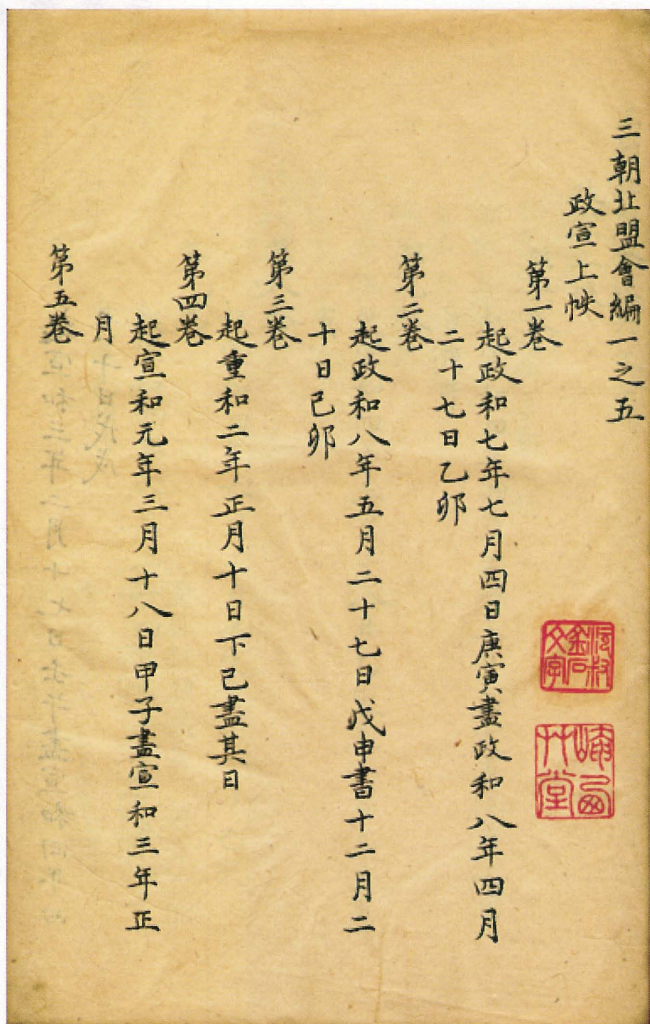
史部 紀事本末類

三朝北盟會編二百五十卷

宋 徐夢莘 撰 鈔本 16冊

有張金吾潘介繁圖記

「沅叔金石文字」朱文方印
「崦西艸堂」朱文長方印



史部紀事本末類

三朝北盟會編二百五十卷

宋 徐夢莘 撰 鈔本 16冊

有張金吾潘介繁圖記

「雙鑑樓臧書記」白文方印

「鄧尉山樵」白文方印

「乃今日之介也」朱文方印

三朝北盟會編卷第一

朝散大夫充荆湖北路安撫司叅議官賜緋魚袋

臣徐夢莘編集

政宣上帙一

起政和七年七月四日庚寅盡政和八年四月二十

七日己卯

政和七年秋七月四日庚寅登州守臣王師中奏有遼人蘇州
漢兒高藥師僧即榮等以舟浮海至文登岸詔師中募人同往
探問以聞

先是政和元年朝廷差童貫副鄭久中奉使遼人有馬植者
潛見童貫于路植燕京霍陰人涉獵書傳有口才能文辭長
於智數見契丹為女貞侵暴邊害益深盜賊蜂起知契丹必
亡陰謀歸漢說貫以遼事是時童貫奉密旨使覘其國於是
約其來歸植數上書奏

史部 紀事本末類

三朝北盟會編二百五十卷

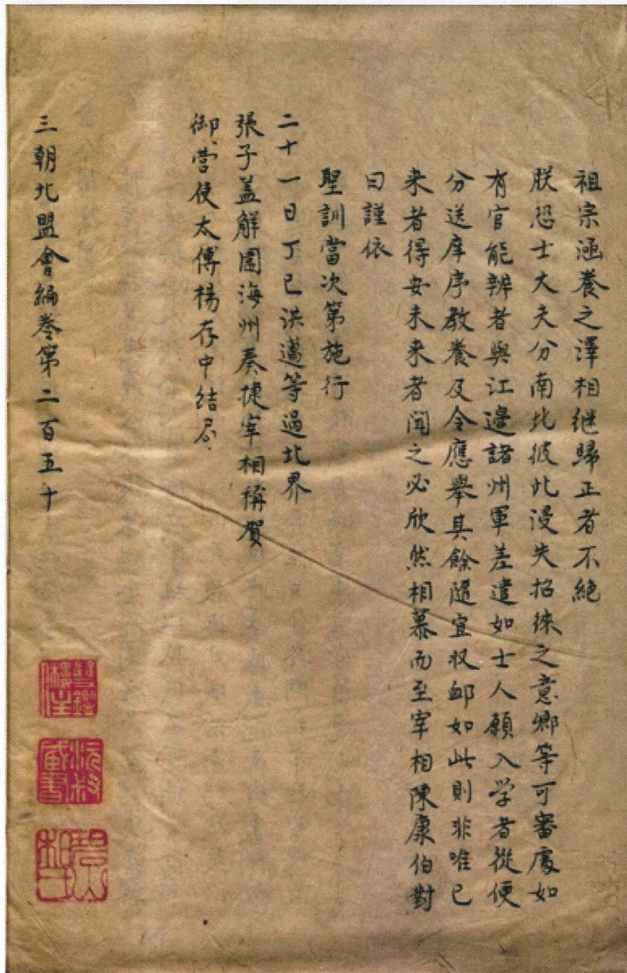
宋 徐夢莘 撰 鈔本 16冊

有張金吾潘介繁圖記

「雙鑑樓主人」白文方印

「沅叔臧書」白文方印

「碧山柏氏」朱文方印



史部 紀事本末類

皇清開國方略三十二卷 首一卷

清乾隆五十一年敕撰 內府刊本 32册

「賜本」朱文圓印

「青宮少保」白文方印

「臣李堂印」朱文方印

皇清開國方略卷二十九



太宗文皇帝

崇德六年辛巳正月至八月



崇德六年春正月壬辰。錫特庫等自索倫部擒獲

博木博果爾還。

先是五年三月。索倫部博木博果爾敗亡後。七

月丙午。

太宗命錫特庫。濟什哈。率護軍。並徵兵外藩往征之。

命內大臣巴圖魯詹理藩院參政尼堪等

皇清開國方略

卷二十九

一

史部 紀事本末類

湘軍記二十卷

清 王定安 撰

光緒十五年 江南書局 刊本 12冊

「禮臣」白文圓印

「敦」朱文圓印

3867

湘軍記敘

昔周道中興宣王修政攘夷六月車攻之篇詩人詠之五
霸迭盛尊王室誅僭僞齊桓晉文之事春秋載之大抵詩
書之作其人皆諳掌故能文章揚挖盛烈以昭示來世垂
王迹於無窮非苟爲纂述已也厥後百家之說益興虞卿
呂不韋陸賈劉向之徒亦箸春秋國語而國策世本漢紀
晉陽秋之類號爲別史不掌於史官然其網羅舊聞備當
時之事成一家之言不可廢也我

朝武功烜赫

史部 紀事本末類

國朝柔遠記二十卷

清王之春撰 光緒六年自序刊本 6冊

「滌性山房主人韓少衡氏珍藏」 朱文長圓印

國朝柔遠記卷一

臣 彭玉麟恭定

臣 王之春敬編

甲申 順治元年

秋七月修正歷法

初明太祖取元授時爲大統歷改太史院爲欽天監兼置回回歷科承用積久而差萬歷九年大西洋意大里亞國人利瑪竇來廣州香山澳後入京貢方物其人精推步之學士大夫皆重之自是而龐迪我熊三拔龍華民鄧玉函等後先踵至皆善天文歷算瑪竇以三十八年四月卒其年十一月朔日倉歷官推算多謬五官正

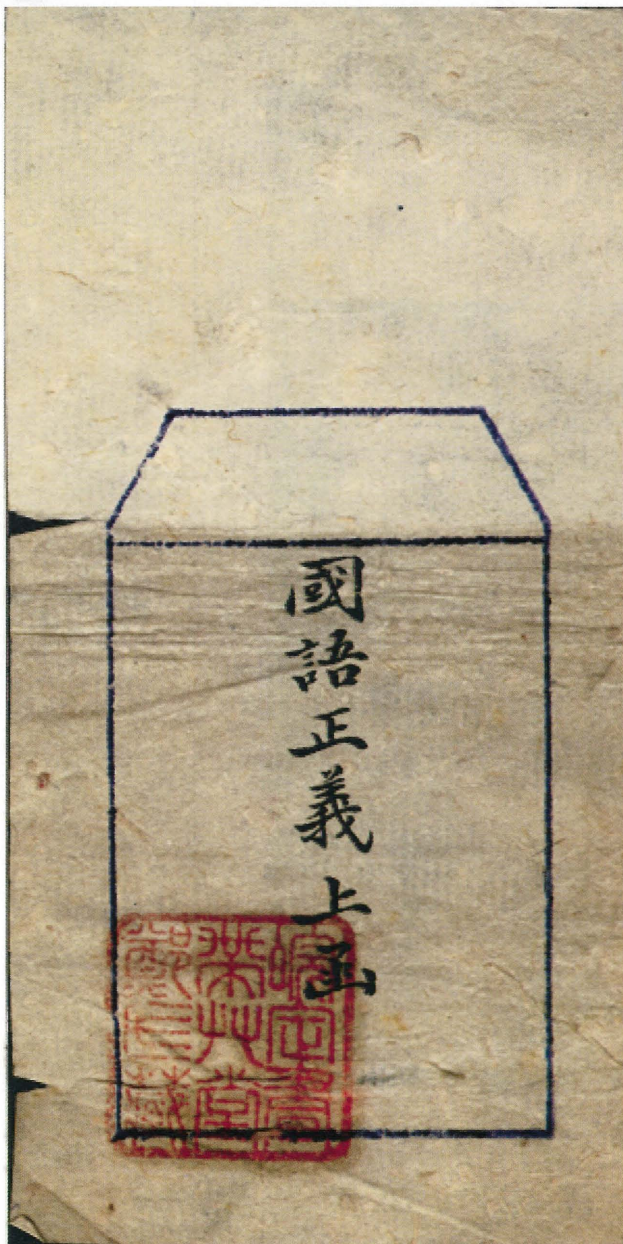
史部 古史類

國語正義二十一卷

清 董增齡 撰 光緒六年 會稽章氏式訓堂 刊本

12册

「皖定書帶草堂鄭氏藏」 朱文方印



史部 古史類

國語校注本三種

清 汪遠孫 撰 道光二十六年 錢唐汪氏振綺堂刊本

5 冊

「埜巢草堂藏書之印」 白文長方印
「西白山房藏書」 朱文方印

178



序

管余在壬申歲受業於金壇段先生授毛氏詩傳游歷齊魯燕趙與當代賢大夫四方達人博資問賸其學甲申至武林與汪中書小米遇時往還吳越未嘗晨夕與居也癸巳小米爲吳氏校刻杭郡詩輯余遂館宿其家余之治毛詩也初爲義類隨類分編小米曰近代法家治毛必兼鄭宗傳說者非君而誰矣益爲大毛公傳作專疏乎余羸弱恆多疾小米又曰吾儕精力不逮古人萬一中道不諱又無賢子孫紹其業不如早爲之所賴有一二知之者共相確證乎此乙未年事也先是小

東方蒼學院京都研究所

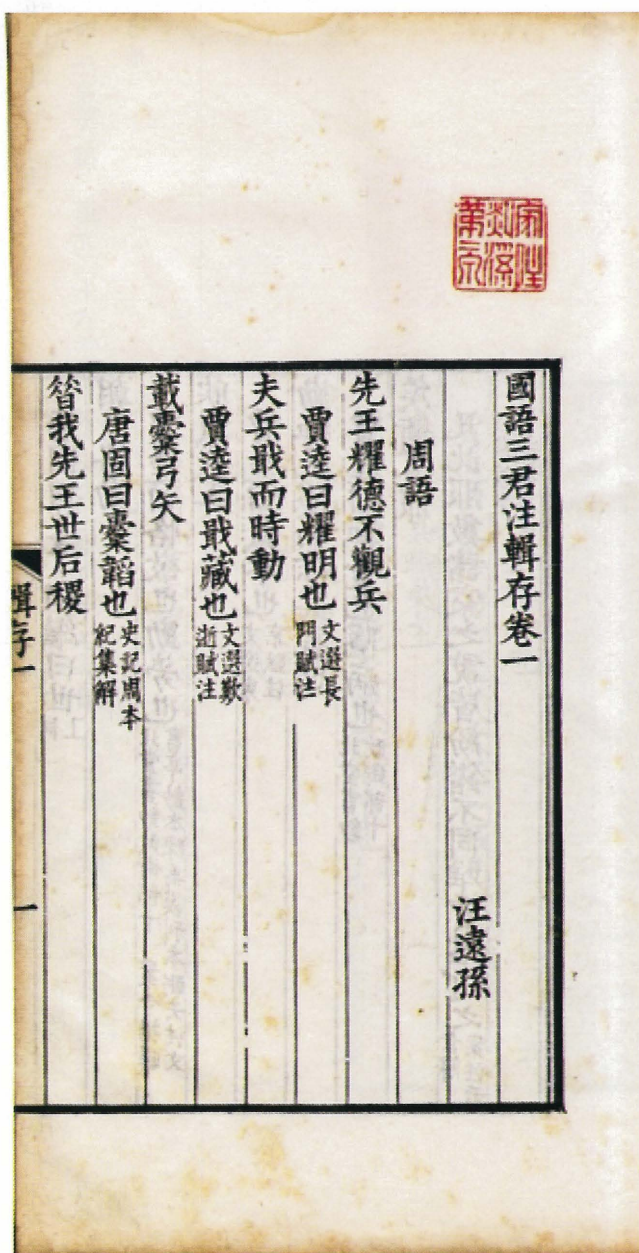


史部 古史類

國語校注本三種

清 汪遠孫 撰
道光二十六年 錢唐汪氏振綺堂刊本
5 冊

「家住剡溪第二泉」 朱文方印



史部 古史類

山海經廣注十八卷 圖五卷

清 吳任臣 撰 康熙六年序 刊本 10冊

「儀徵田氏種荊山房藏書印」 朱文長方印

89

山海經廣注序



仁和柴紹炳撰

山海經初見漢志劉歆校定爲
一十八篇云是伯益所撰其後
尤袤指爲先秦之書至晉郭璞
爲之傳凡二十二篇每卷有讚

史部 古史類

竹書穆天子傳六卷

晉 郭璞 注 清 洪頤煊 校 嘉慶九年 臨海洪氏鄂不館

刊本 金鐘山房藏板 1 冊 有柯逢時圖記

「武昌柯逢時收藏圖記」 朱文方印

竹書穆天子傳卷一

晉 郭璞 注

臨海 洪頤煊 校

古文

飲天子蠲音通山之上戊寅天子北征乃絕漳水絕猶截也漳水

今在鄭縣庚辰至于口觴天子于盤石之上觴者所以進酒因云觴耳天

子乃奏廣樂史記云趙簡子疾不知人七日而寤曰我

萬舞不類三代之樂其載立不舍言在車上至于鉞山

之下燕趙謂山脊爲鉞卽井鉞山也今在常山石邑縣

辛櫛詹事云井鉞卽井歷古讀鉞如御覽八十五引補

也癸未雨雪天子獵于鉞山之西阿阿山阪也。阿太

鄂不館校本

史部 古史類

晏子春秋八卷

嘉慶二十一年 全椒吳鼎 據景元鈔本校刊 2冊

「亞侯」朱文方印

「金弟」白文方印

2018

重刻晏子春秋後序

東方文化學院京都研究所



嘗謂古書無唐以前人注者易多脫誤晏子春秋其一也乾隆戊申孫伯淵觀察始校定之爲撰音義發凡起例綱舉目張矣嗣是盧抱經先生羣書拾補中晏子即據其本引申觸類頗復增益最後見所謂元人刻本者補二百十五章之目而觀察亦得從元刻影鈔一部手自覆勘嘉慶甲戌九月以贈吳山尊學士於是學士屬廣圻重刻於揚州別錄前有都凡每篇有章次

史部 別史類

古史六十卷

宋 蘇轍 撰

嘉慶元年 常熟席氏掃葉山房 刊本

6 冊 有柯逢時圖記

「武昌柯逢時收藏圖記」 朱文方印

「慈谿畊餘樓臧」 朱文長方印

「馮氏辨齋臧書」 白文方印

3488

古史敘

蘇子曰古之帝王皆聖人也其道以無爲爲宗萬物莫能嬰之其於爲善如水之必寒如火之必熱其於不爲不善如騶虞之不殺如竊脂之不殺不學而成不勉而得其積之中者有餘故其推之以治天下者有不可得而知也孔氏之遺書曰喜怒哀樂之未發謂之中發而皆中節謂之和中也者天下之大本也和也者天下之達道也致中和天地位焉萬物育焉天地萬物猶將賴之以存而況於人乎自三代之衰聖人不作世不知本而馳騁於喜怒哀樂之餘故其發於事業日以鄙陋不足以睎聖人之萬一雖春秋之際王澤未竭士生其間習於禮義而審於利病如管仲晏子子產叔向之流皆不足以知之至於孔子其知之者至矣而未嘗言孟子知其一二時以告人而天下亦不能信也陵遲及於秦漢士

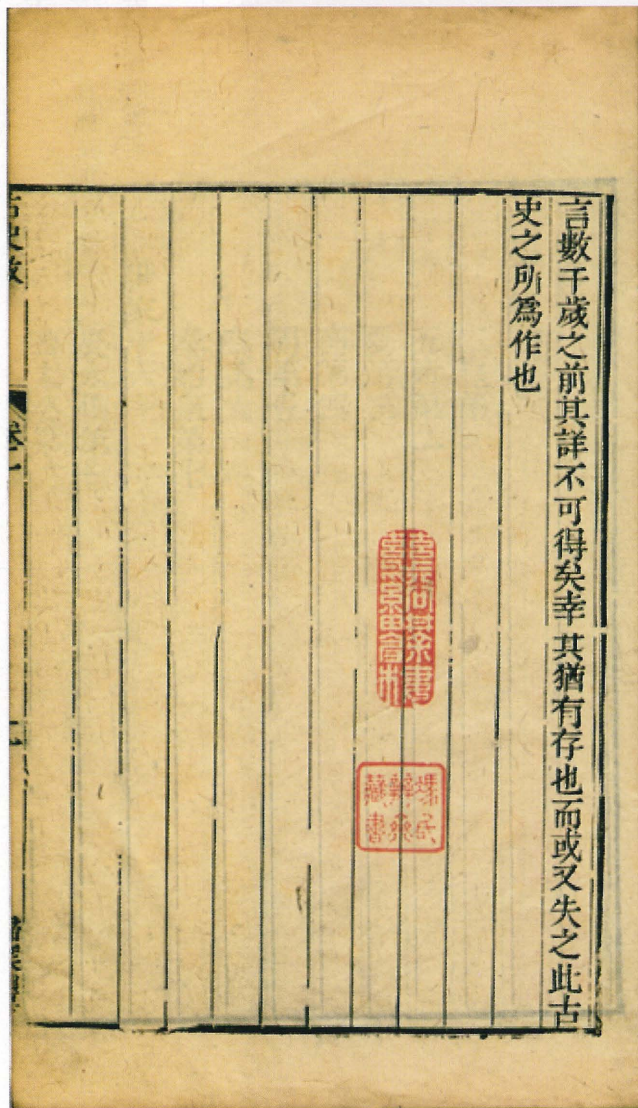
史部 別史類

古史六十卷

宋 蘇轍 撰 嘉慶元年 常熟席氏掃葉山房 刊本

6册 有柯逢時圖記

「慈谿畊餘樓」 白文長方印
「馮氏辨齋藏書」 朱文方印



史部 別史類

古史六十卷

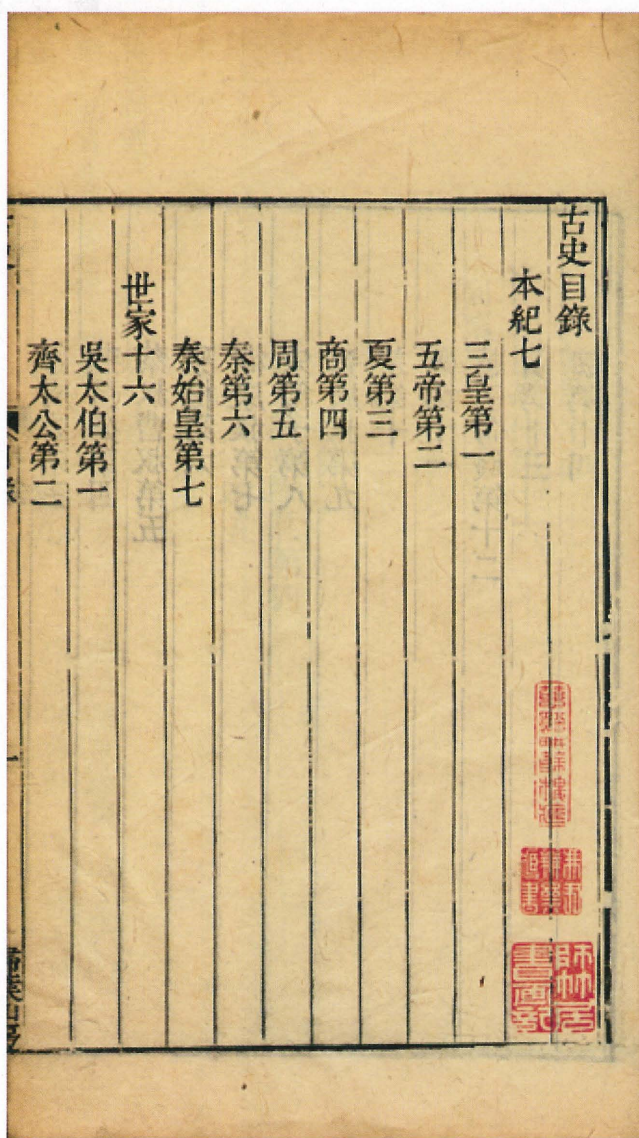
宋 蘇轍 撰 嘉慶元年 常熟席氏掃葉山房 刊本

6 冊 有柯逢時圖記

「慈谿畊餘樓藏」 朱文長方印

「馮氏辨齋藏書」 白文方印

「師竹居書畫記」 白文方印



史部 別史類

古史六十卷

宋 蘇轍 撰 嘉慶元年 常熟席氏掃葉山房 刊本

6 冊 有柯逢時圖記

「武昌柯逢時收藏圖記」 朱文方印

「慈谿畊餘樓臧」 朱文長方印

「馮氏辨齋臧書」 白文方印

「師竹居書畫記」 白文方印

三皇本紀第一

宋蘇轍子由著

掃葉山房校刊

太昊伏羲氏風姓始觀天地之象鳥獸之文近取諸身遠取諸物以畫八卦教民稼取儷皮以爲禮作結繩爲罔罟以佃以漁參犧牲服牛乘馬故曰伏羲亦曰包犧氏伏羲以木德王天下故爲三皇首河出圖故爲龍師而龍名居於宛邱後世所謂太昊之虛也伏羲氏旣衰而共工氏伯九州自謂水德失五行之敘其後神農氏興而伏羲之子孫不可復紀至周衰有任宿須句顓臾皆風姓邑於濟上奉伏羲之祀

炎帝神農氏姜姓以火德繼木爲火師而火名故曰炎帝斲木爲耜採木爲耒教民稼穡故曰神農始爲市以通有無嘗草木百藥以救疾苦其子柱能殖百穀百蔬五帝之世祀以爲稷子孫傳世

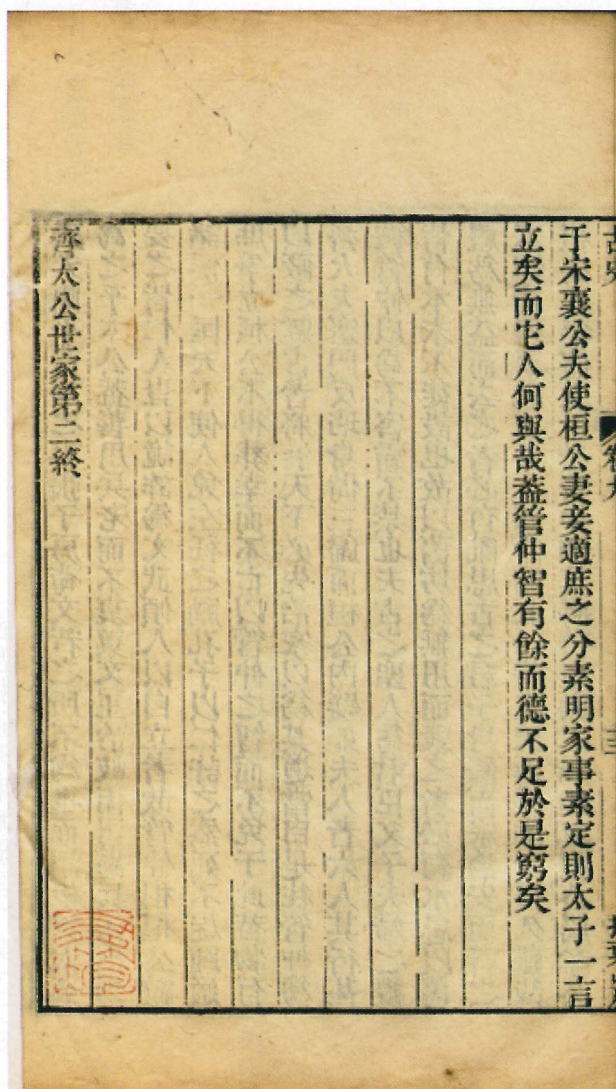
史部 別史類

古史六十卷

宋 蘇轍 撰 嘉慶元年 常熟席氏掃葉山房 刊本

6册 有柯逢時圖記

「有筠」朱文方印



史部 別史類

古史六十卷

宋 蘇轍 撰 嘉慶元年 常熟席氏掃葉山房 刊本

6册 有柯逢時圖記

「鹿園居士」朱文方印

尺寸之賂一金之費而晉人戴之遂伯諸侯彼其處利害之計誠
審哉夏商之衰湯文王皆起于諸侯積德深厚天下歸之不得已
而後應故雖取天下而無取天下之患其後皆數十世若晉文公
德雖未足而待其自至則庶幾王者之事也是以主盟中夏幾二
百年其功業與齊桓等而子孫過之遠甚夫豈非其積之有厚薄
故邪晉悼公之復伯也與楚爭鄭三合諸侯之師未嘗一與楚戰
卒以敝楚而服鄭蓋古之善用兵者皆以不戰屈人之兵非不得
已不戰方鄭之未服也中行偃樂壓皆欲以戰勝楚惟智罃知用
兵之難勝負之不可必遷延稽故而楚人自敝不較而去不然二
子將為先穀而罃將為林父如罃可謂知兵矣

晉唐叔世家第九終

古史

卷十六

晉

掃葉山房

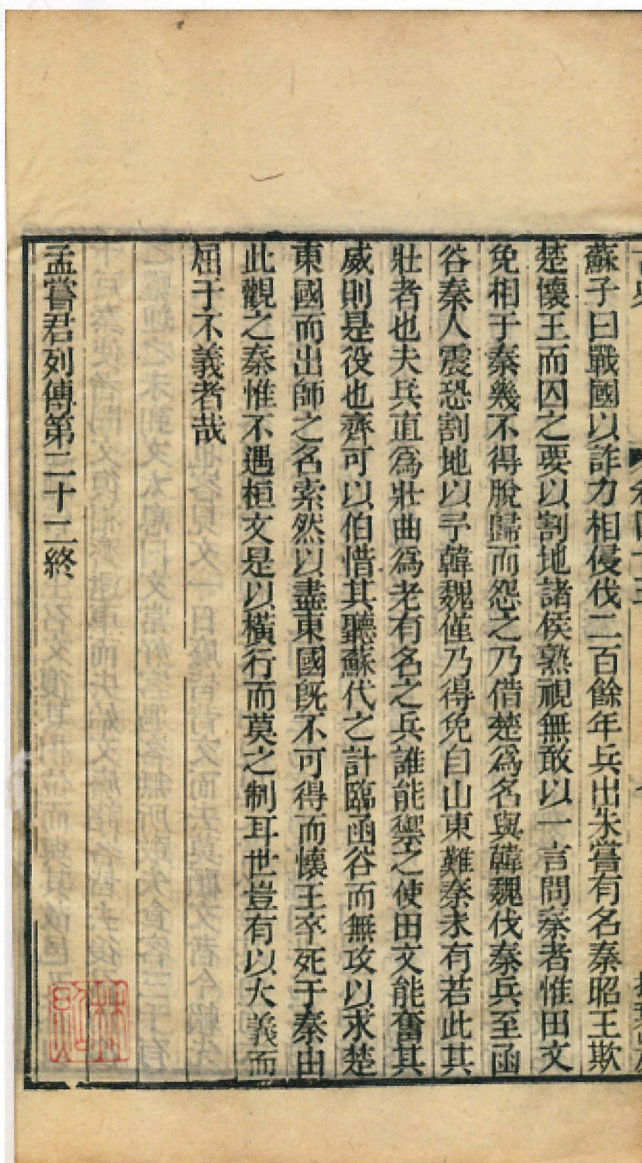
史部 別史類

古史六十卷

宋 蘇轍 撰 嘉慶元年 常熟席氏掃葉山房 刊本

6 冊 有柯逢時圖記

「林照」朱文方印



史部 別史類

隆平集二十卷

宋曾鞏撰 康熙四十年南豐彭期七業堂校刊本
6冊

「五經史漢傳家」白文方印



史部別史類

隆平集二十卷

宋曾鞏撰 康熙四十年南豐彭期七業堂校刊本

6冊

「荊門胡氏」朱文方印

「作柄」白文方印

3481

隆平集序

史官記錄其來尚矣。雖六史異名。職司殊事。螭頭柱下。操觚載簡。爲記事之始。蘭臺東觀。稽文責實。爲勒撰之所。至於研精覃思。譔正得失。權輿綱紀之論。總括經緯之條。則必窮神於退食。委蛇之閒。夙興夜寐之際。故凡爲是官者。莫不家有注記。自備討論。豈不以事重體大。君子之所盡心焉哉。厥自遷固。各有家學。楊子山爲郡上計。猶獻哀牢傳。得詔詣蘭臺。迺若陸賈。魚豢。張璠。范曄。亦復身非史職。私撰國書。由是

史部別史類

東都事略一百三十卷

宋王偁撰 振鷺堂刊本

20冊

有錢唐丁氏八千卷樓圖記

「四庫箸錄」白文長方印

「~~丁~~氏八千卷樓藏書之記」朱文方印

衍字

2358



翰林學士正奉大夫知制誥兼侍講兼修國史洪邁劄子奏臣
切謂

東方文學院京師研究所

國家史冊雖本於金匱石室之藏然天下遺文軼事散落人間
寶賴山林博洽之士廣記備言上送有司以爲汗青之助臣比
以猥瑣下材承乏

四朝文院翫歲引日僅能奏篇旣蒙

聖恩策其裒粹寸長裒進崇秩於此有人焉蓋嘗展施功緒卓
然成勞臣若隱而不言掠人之功以爲己力揆之心顏安所置

愧敢以龔郭頤王稱姓名冒聞

宸扆郭頤者和州布衣也其曾祖原昔爲

泰陵實錄院官故其家藏書念元祐黨籍諸臣及建中上書

等多表表立名節經崇寧禁銅靖康流離子孫不能盡存平

史部 別史類

東都事略一百三十卷

宋王偁撰 振鷺堂刊本

20冊

有錢唐丁氏八千卷樓圖記

「經過陶在東家」 朱文方印

東都事略卷第一

承議郎新權龍州軍州兼管内勸農事管界汝鄆郛徐豫寧等州觀察使王稱上進

本紀一

太祖啓運立極英武睿文神德聖功至明大孝皇帝其先出于
帝高陽氏之後造父爲周穆王御破徐偃封趙城因氏焉自漢
京兆尹廣漢居涿郡遂爲涿郡人至唐而高祖僖祖皇帝生
焉僖祖仕至文安令曾祖順祖皇帝仕歷藩府從事兼御
史中丞皇祖翼祖皇帝少有大志仕至涿州刺史贈左驍衛
上將軍皇考宣祖皇帝少驍勇善騎射而雅好儒素起家事
趙王王鎔時梁晉爭天下晉求援於鎔鎔命宣祖以五百騎
赴之莊宗嘉其勇敢因留之命掌禁軍爲飛捷指揮使自同光
至開運踰二十年不遷而宣祖亦未嘗以介意漢乾祐中王

史部 別史類

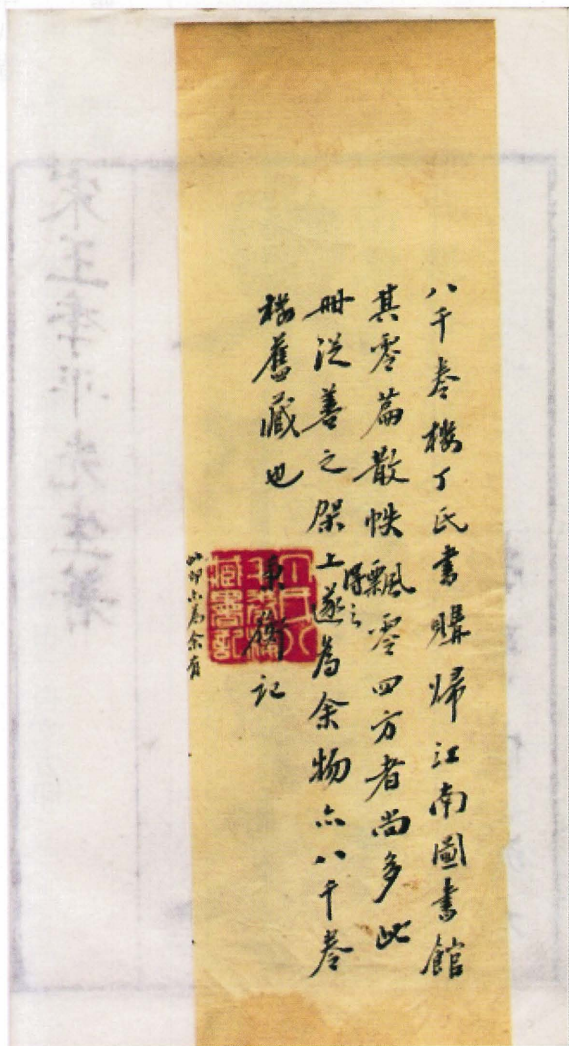
東都事略一百三十卷

宋王偁撰 振鷺堂刊本

20冊

有錢唐丁氏八千卷樓圖記

「丁氏八千卷樓藏書記」 白文方印



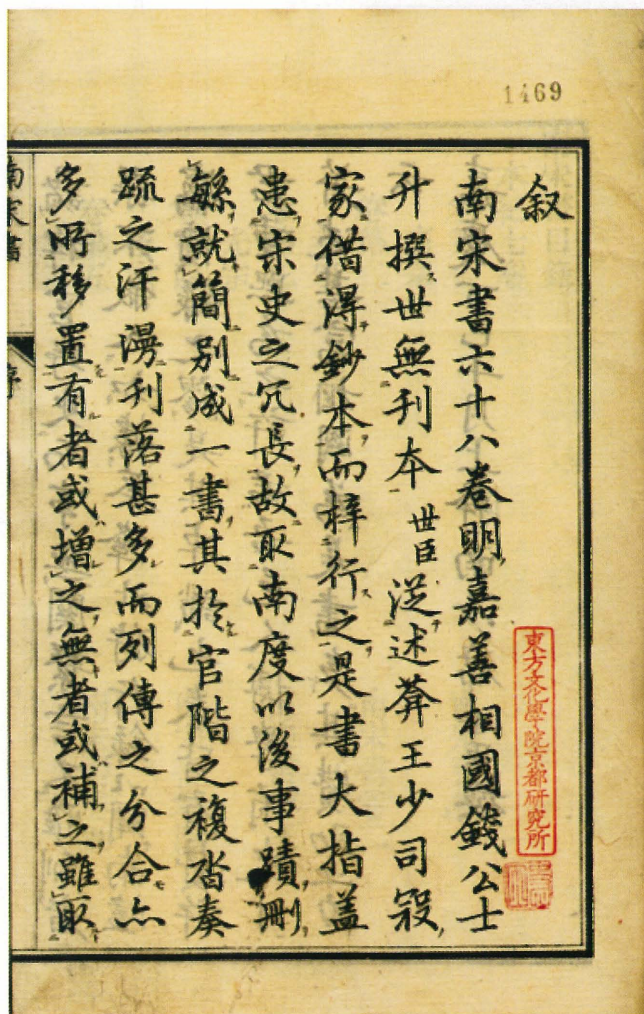
史部 別史類

南宋書六十八卷

明 錢士升 撰 嘉永二年 江戸須原屋茂兵衛等 刊本

忍藩進脩館藏板 16冊

「寺田」白文方印



史部別史類

元秘史李注補正十五卷

清高寶銓撰

光緒二十八年刊本

4冊

「鄉邦文獻所繫」朱文方印

「平湖屈氏一卷書塾所藏」朱文長方印

5026



自敘

元史疏舛而太祖本紀尤甚元秘史十五卷紀太祖事妄爲釋說積有歲年繼聞順德李仲約侍郎有元秘史注則急思取以相證而苦未傳本侍郎沒書始出受而讀之與鄙見不合者十乃五六爰就前稟刪其李書所已詳存其李書所未備顏曰李注補正竊顧氏左傳杜注補正之例也案元太祖崛起興幹難囊括北荒由今之喀爾喀北收失必兒全土由今之新疆西取幹羅思諸部其山川之險易風土之異同與夫行兵之畧制敵之方備著於秘史方今西北萬里鄰毘強俄近且軌路輪車康莊絕漠徙民屯戍奪主啞賓思患預防於斯爲亟則是編者豈徒爲讀史之助云爾哉

東之卷學院京都研究所



史部 別史類

元秘史李注補正十五卷

清 高寶銓 撰 光緒二十八年 刊本 4 冊

「朱士楷印」 白文方印

元秘史李注補正卷一

秀水高寶銓

慘白色的鹿

述異記曰鹿千歲爲蒼又五百歲爲白又五百歲爲元

騰吉思名字的水

案騰吉思譯言湖裏海在蔥嶺西北一千餘里鹹海之西黑
海之東今俄羅斯與波斯二國間形如垂肩之耳自東北暨
於西南長一千餘里廣半之汪洋如海而隔在地中故稱裏
海廣莫無涯而濶如澤泊故號騰紀斯元史速不台傳癸未
請討欽察引兵繞寬田吉思海亦卽此田吉思騰紀斯皆卽
騰吉思音轉耳穆佑孫俄遊彙編曰裏海方七千九百八十

史部 別史類

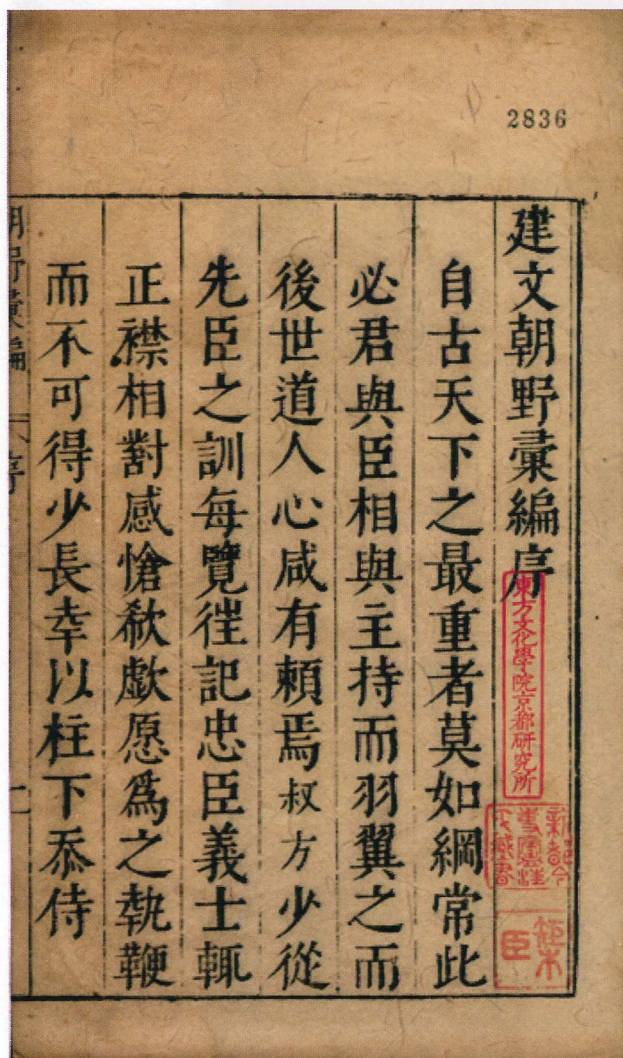
建文朝野彙編二十卷

明 屠叔方 撰

萬曆二十六年自序 刊本

20 冊

「新都今事廬汪氏臧書」 朱文方印
「渠臣」 朱文方印



史部別史類

建文朝野彙編二十卷

明屠叔方撰

萬曆二十六年自序刊本

20冊

「新都今事廬汪氏臧書」朱文方印

建文朝野彙編卷一

原任廣東道監察御史秀水屠叔方纂

遜國編年

帝諱允炆

太祖高皇帝之孫懿文皇太子之子也初

太祖起兵從滁陽王日侍王左右王夫人善相

人相

太祖非常語王妻以女馬氏周旋兵間生五

子長標卽懿文皇太子幼有異質長師事

史部 別史類

名山藏一百九卷

明 何喬遠 撰 崇禎十三年序 刊本 64冊

「清風」朱文方印

「金氏基大」白文方印

「伯豐」朱文方印

名山藏卷之一

典謨記

太祖高皇帝上

臣何喬遠恭輯

太祖高皇帝御諱元璋字國瑞濠州人也姓朱其先
句容人世農桑皇祖始渡淮家泗皇考徙鍾離皇妣
陳生四子帝季也日章天質鳳目龍姿聲如洪鐘奇
骨貫頂元時太史言聖人生江淮帝實應之當皇妣
娠夢黃冠授一丸有光吞之覺而口尚聞香明日生
於土地神祠中白氣貫空異香經宿祠中神驚避數

史部 別史類

滿洲名臣傳四十八卷 欽定宗室王公功績表傳十

二卷 漢名臣傳三十二卷

清 闕名輯 京都琉璃廠榮錦書屋 檢字刊本 88冊

「□□山房」朱文圓印

「□讓協記」朱文方印



史部 別史類

弘簡錄二百五十四卷

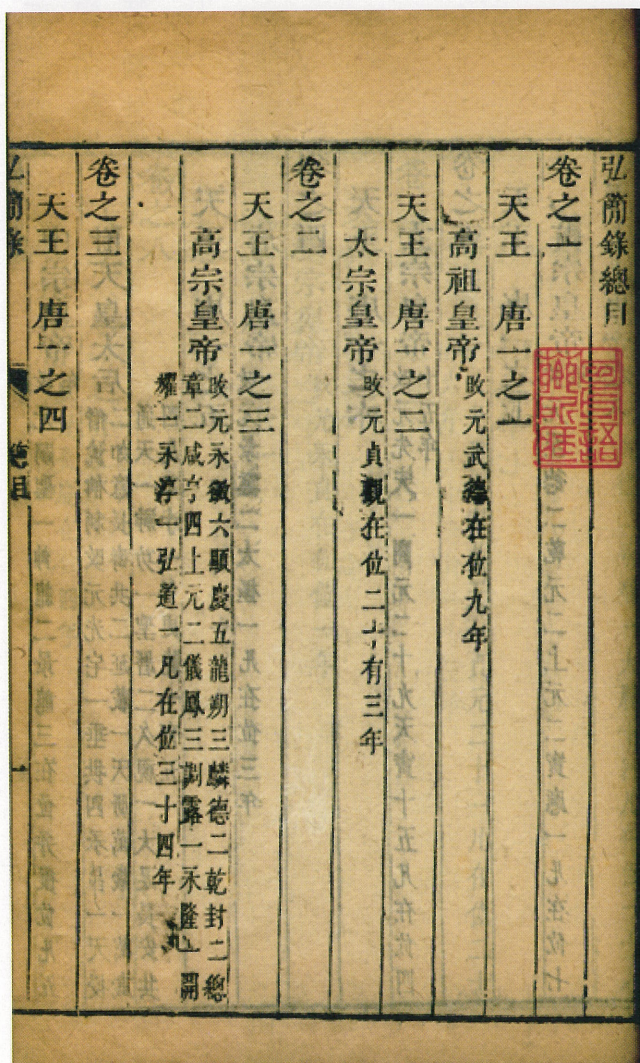
增續弘簡錄元史類編四十二卷

明 邵經邦 撰 曾孫邵遠平 撰續 康熙二十七年 仁和

邵氏刊本 續 康熙四十五年序刊 80冊

「甘氏語樂所臧」朱文長方印

薌



史部別史類

弘簡錄二百五十四卷

增續弘簡錄元史類編四十二卷

明邵經邦撰 曾孫邵遠平撰續 康熙二十七年仁

和邵氏刊本 續康熙四十五年序刊 80冊

「曾在甘語藥處」朱文長方印

弘簡錄卷之一

明刑部員外郎仁和邵經邦弘齋學

皇清翰林院侍講學士四世孫遠平校閱

天王 唐一之

高祖皇帝姓李氏諱淵字叔德隴西成紀人七世祖嵩當晉末據秦涼是為涼武昭王六世祖歆生重耳魏弘農太守是生皇高祖熙任金門鎮將戍於武川因家焉皇曾祖天賜仕魏贈司空皇祖虎魏太尉賜姓大野氏與李弼等八人佐周代魏有功加柱國封唐國公卒諡曰襄皇考昺襲封任隋安州總管柱國大將軍卒諡曰仁以周天和元年生高祖於長安體有三乳及長偶儻豁達寬仁容衆襲封唐公母獨孤氏隋文帝后姊特見親愛復其姓李初補千牛備身累轉譙隴岐三州刺史榮陽樓

弘簡錄

卷之一

天王

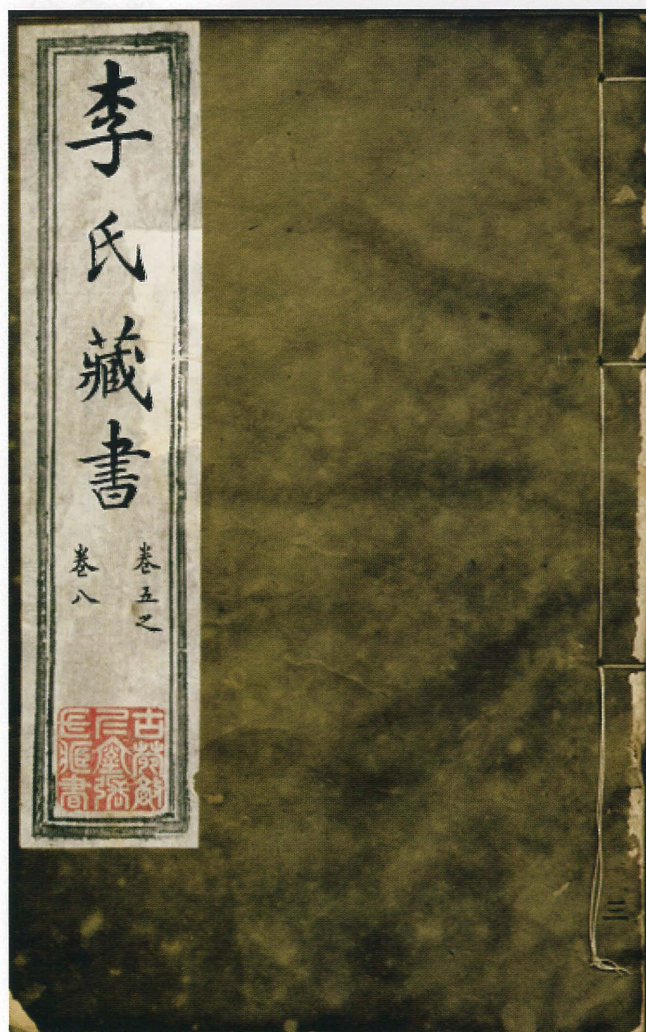
史部 別史類

李氏藏書六十八卷 續藏書二十七卷

明 李贄 撰 萬曆二十七年 金陵刊本 續藏書 金陵

王氏刊 38冊

「古苑敦仁堂張氏藏書」白文方印



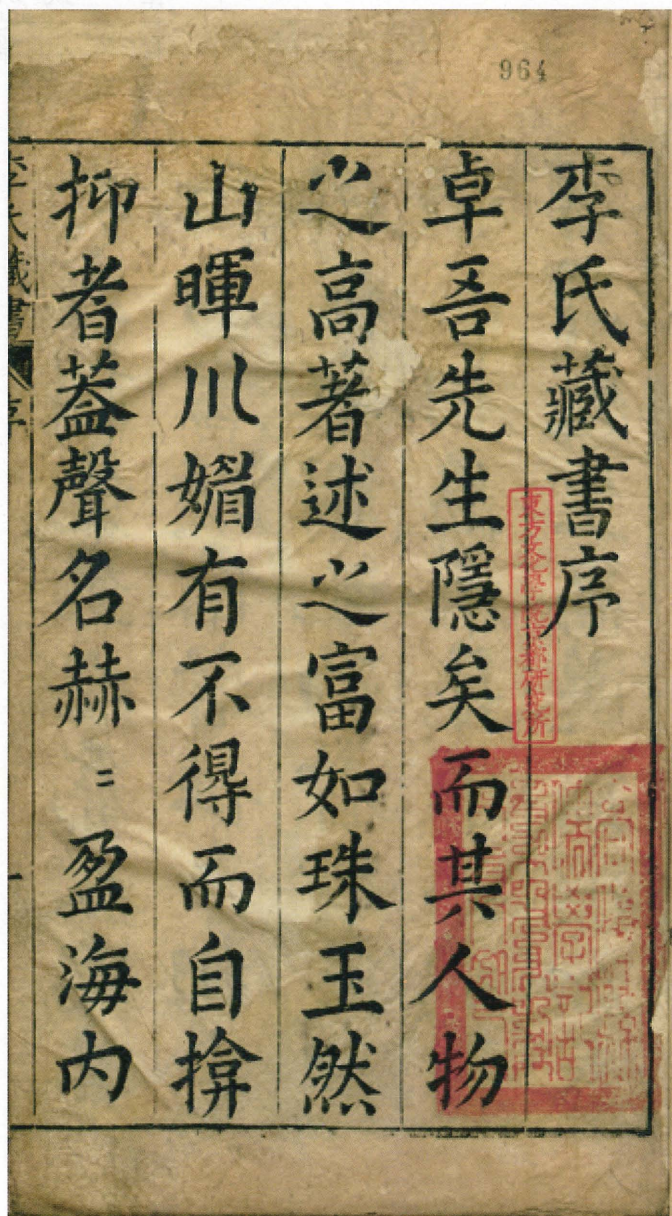
史部 別史類

李氏藏書六十八卷 續藏書二十七卷

明 李贄 撰 萬曆二十七年 金陵刊本 續藏書 金陵

王氏刊 38冊

「高淳縣儒學記」 朱文長方印



史部 別史類

李氏藏書六十八卷 續藏書二十七卷

明 李贄 撰 萬曆二十七年 金陵 刊本 續藏書 金陵

王氏 刊 38 冊

「立成堂」朱文長方印
「立成堂藏書」白文方印



史部 雜史類 事實之屬

弇州史料前集三十卷 後集七十卷

明 王世貞 撰 明 董復表 輯 萬曆四十二年 楊修齡
刊本 44冊 有王士禎圖記葉德輝識語

「德輝」白文方印

「奐份審定」朱文方印

弇州山人史料前集三十卷後集七十卷即明史藝文志所載明野史棠百卷是也志注稱
萬曆中董復表棠纂諸集為弇州史料百卷蓋一書而先後異名耳偶檢國朝以來藏書
家目錄如祁氏澂生堂孫氏相堂倪氏江上望林閣丁氏持靜齋皆無其書即四庫各目著
錄亦以前集三十卷若不知有後集七十卷者則其書之希有可知明人著述之富無如弇州人
金陸續得其四部稿稿諸書後從各種官店日極難得之書即祁孫倪丁目之未載而皆為余得
豈人歟以斯文相付託耶前集有大司成章四字朱文印末一首葉有王士禎印四字白文印文
學侍從之目六字朱文印知經漁洋山人收藏名賢手澤書估之知珍貴故索值甚昂幾為
大力者買之以趨幸如手快不為所奪也元緒壬寅初夏我生蕭麗慶主人葉德輝識

史部 雜史類 事實之屬

弇州史料前集二十卷 後集七十卷

明 王世貞 撰 明 董復表 輯 萬曆四十二年 楊修齡

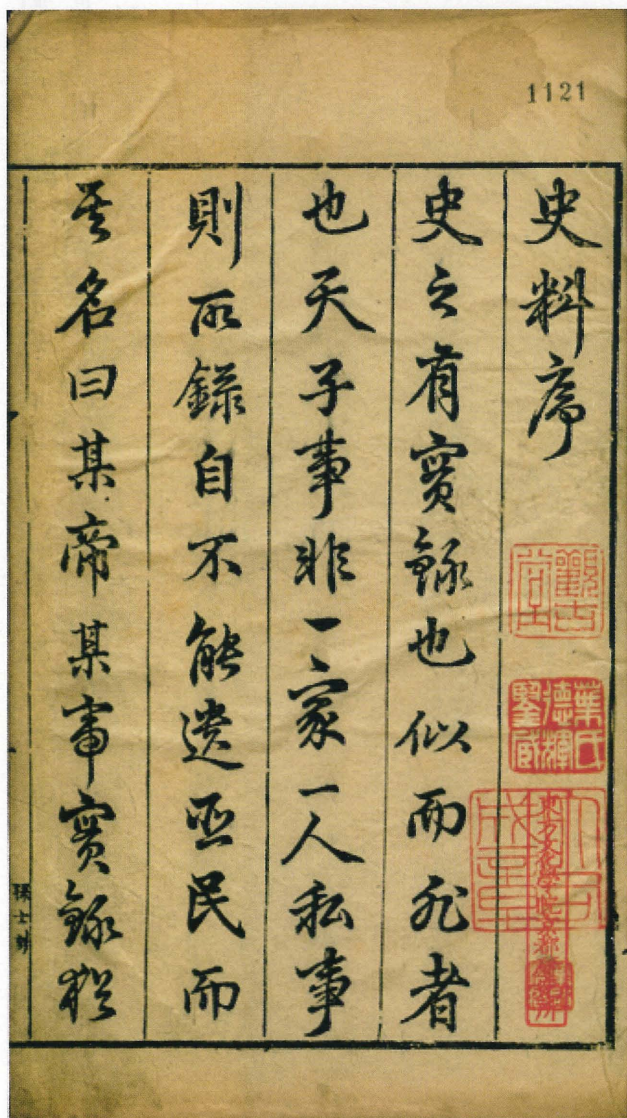
刊本 44冊 有王士禛圖記葉德輝識語

「觀古堂」朱文方印

「葉氏德輝鑒藏」白文方印

「大司成章」朱文方印

「葉啓藩藏」朱文方印



史部 雜史類 事實之屬

弇州史料前集三十卷 後集七十卷

明 王世貞 撰 明 董復表 輯 萬曆四十二年 楊修齡
刊本 44冊 有王士禎圖記葉德輝識語

「會心不遠」 白文方印

弇州史料前集目錄

第一卷

同姓諸王表序

高帝功臣公侯伯表序

永樂以後功臣公侯伯表序

公侯伯表總序

追封王公侯伯表序

恩澤公侯伯表序

衍聖公爵系表序

史部 雜史類 事實之屬

弇州史料前集二十卷 後集七十卷

明 王世貞 撰 明 董復表 輯 萬曆四十二年 楊修齡 刊本 44冊 有王士禎圖記葉德輝識語

「王士禎印」 白文方印

「文學侍從之臣」 朱文方印

弇州史料前集卷之一

瑯琊王世貞纂撰

華亭後學董復表彙次

同姓諸王表序

旨哉班固之引詩曰价人維藩大宗維翰懷德維寧宗子維城夫豈直以昭展親敦睦之誼盖首廣樹肺腑以夾輔王室有深長思焉然天子之號僅為王王畿不過千里諸侯之殺也十之故以至親勛德無兩周公而爵斬九命地裁百

史部 雜史類 事實之屬

紀載彙編

清闕名輯 刊本 6冊

「孫俞楨印」 白文方印

崇禎十七年甲申

4069

燕都日記

莫釐山人增補馮夢龍原本

己丑三月初一日昌平兵變京師戒嚴

東方花學院京都研究所

昌平民譟焚劫官民舍一空初二日何謙以變聞命謀

帶罪安職

張鐸請監國南京

補

陳川諸生張鐸來中左門鐸陳三策首請太子監國南

京擇重臣輔之

宣府告急命鎮朔將軍王承允偵賊所向

補

魏藻德請自出京議餉不允命黃希憲路振飛籌兵餉

補

按藻德之請爲脫身計耳帝諭以在閣佐理則其計不

史部 雜史類 事實之屬

勝朝遺事初編六卷 二編八卷

清 吳彌光 輯 清 宋澤元 重訂

懋華盒 刊本 39冊

光緒九年 山陰宋氏

「衍堂一字德潛」朱文方印



史部 雜史類 事實之屬

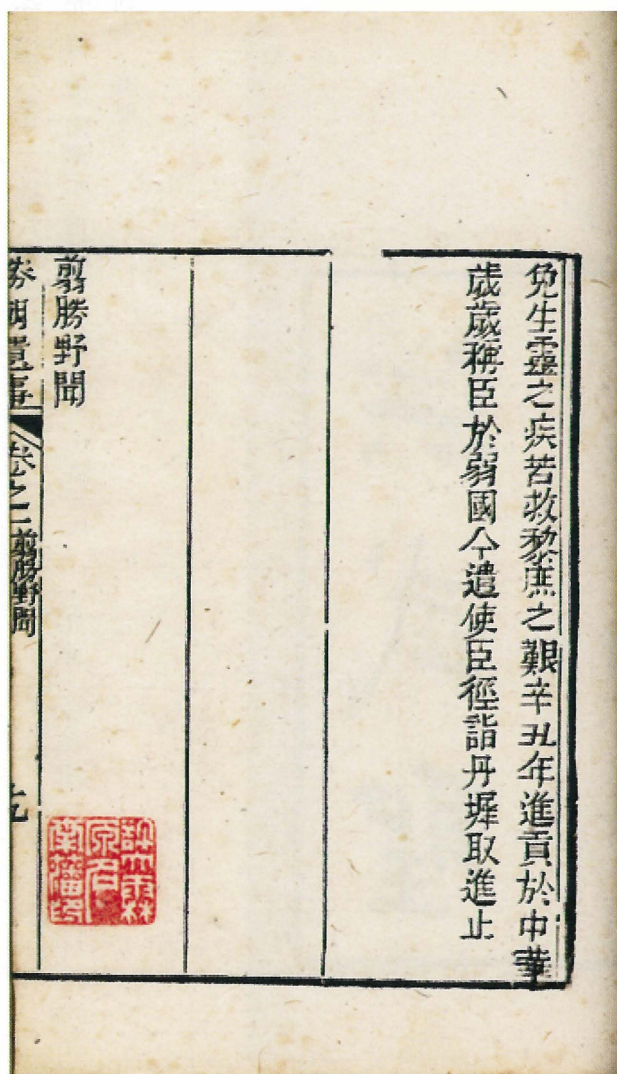
勝朝遺事初編六卷 二編八卷

清 吳彌光 輯 清 宋澤元 重訂

懋華堂 刊本 39冊

光緒九年 山陰宋氏

「許大霖原名南藩印」 白文方印



史部 雜史類 事實之屬

長安宮詞一卷

清胡延撰 光緒二十八年序刊本 1册

「禮臣」白文圓印

「敦」朱文圓印

長安宮詞

行在內廷支應局督辦署陝西鳳邠鹽法道授江安糧儲道臣胡延恭紀

鏡裏八流縈紫甸雲中雙闕擁黃圖漢唐王氣今銷

歇又迂 鑾輿作帝都

光緒庚子八月 兩宮在太原下詔巡幸西安護

撫臣端方奏明設局恭備供奉事宜飾南北兩院

爲行宮北院巡撫所居南院則總督行館也

聖駕蒞止居於北院取其屋舍較多然草草修葺

僅蔽風

雨而已

傍水千廬似客寮六飛停處雨飄蕭王公箇箇如楊

南宋雜事詩七卷

清沈嘉轍 吳焯 陳芝光 符曾 趙昱 厲鶚 趙信 撰

刊本 2冊 有繆荃孫圖記

「雲輪閣」朱文長方印

「荃孫」朱文長方印

南宋襍事詩

錢唐沈嘉轍藥城

龍蔥佳氣儼山川南渡開基大寶傳爲有文章京樣好
中興畱得幾遺編

宋會要總類五年丙寅宣示大宋父命中興之寶中興御府藏玉寶
有一行一曰親同神寶一曰受命寶三曰天子信寶四曰天子
寶十曰定命寶十一曰大宋受命中興之寶 方輿勝覽兗州大宋受命之
寶十曰定命寶十一曰大宋受命中興之寶 玉海建炎三年切安國
之清文堂景祐覽雲陣銀山之壯意氣天景景 玉海建炎三年切安國
中興策十四篇紹興二年權邦衡鑑中興十議四言汪藻上建美
與詔百七十七冊七年林保獻中興紀鑑八李昌言汪藻中興覽十
篇九季正伯芳上宣光中興日曆五卷十二年漳州布衣陳清獻中興
論鏡淳熙十一年上中興禮者先是紹興元年趙子書上言政和宣和
因革禮度江後皆失請事加修纂至是書成賜名中興禮書嘉泰二
年進士宣奉總纂中興禮書八十卷又李綱建炎大中興記三卷張
汝准中興偷閒記一篇李時中興戰功錄叙上中興十二處戰功列
於欽法熊克揆中興紀事本末一名中興小曆文獻通考梁克家等上
中興會要一百卷何照潔中興百官題名五十卷 案以上諸目惟

史部 載記類

增訂吳越備史六卷 首一卷

宋 范垶 林禹 同撰 清 錢時鈺 增訂 乾隆六十年

山陰錢氏 刊本 4冊 有繆荃孫圖記

「荃孫」朱文長方印

增訂吳越備史卷一



武勝軍節度使掌書記范垶

誤

武勝軍節度巡官林禹

武肅王二十七世孫時鈺粹金氏增訂

男 敬業二益氏校

武肅王上

武肅王姓錢氏諱鏐字具美杭州安國縣人

即臨唐安縣

武德中陪葬功臣潭州大都督巢國公九隴八代孫

也大中六年壬申二月十有六日生於本縣之衣錦

增訂吳越備史

卷一

史部 載記類

南唐書三十卷 圻考異一卷

宋 馬令 撰 清 趙泰 撰 考異

嘉慶十八年 獻園沈氏 活字印本

4 冊

「常熟趙閭鄉家藏」 白文方印

欽定四庫全書總目提要

史部 載記類

南唐書三十卷

宋馬令撰令宜興人陳振孫書錄解題載令自序稱其祖太博元康世家金陵多知南唐故事未及撰次今繼先志而成之實崇寧乙酉云云則令乃北宋末人也此本不載令自序蓋偶佚也元趙世延所作陸游重修南唐書序稱馬元康胡恢等迭有所述今復罕見竟以爲令祖元康所作殆當時未睹其本故傳聞致誤歟其書

3277

東方文化學院京都研究所



史部 載記類

南唐書三十卷 附考異一卷

宋馬令撰 清趙泰撰考異

嘉慶十八年 歙園沈氏 活字印本 4冊

「非昔居士」 白文方印
「趙宗建印」 朱文方印

南唐書卷一

先主書第一

宋馬令編

土運中圯諸侯跋扈基構自吳紹于唐祚作先主書先主姓
李唐宗室裔也小字彭奴其父榮榮之父志志之父超超早
卒志爲徐州判司因家焉榮性謹厚適丁世亂晦迹民間號
李道者彭奴以光啟四年生於彭城宋名故書小字流寓濠泗吳武
王楊行密克濠州得之奇其狀貌養以爲子而楊氏諸子不
能容行密以乞徐溫乃姓徐名知誥溫嘗夢水中黃龍十數

南唐書

卷之一

歙園沈氏校本

史部 載記類

南唐書十八卷 附音釋補一卷

宋 陸游 撰 元 戚光 音釋 清 湯運泰 注 清 湯運泰

男 湯顯本 錄音釋補

道光二年 青浦湯氏綠籤山房 刊本 8 冊

「武昌柯逢時收藏圖記」 朱文方印

3383



吾師虞尊先生註陸游南唐書成授簡以謙命爲之序
伏讀

東方各學院京都研究所

欽定四庫全書總目部分載記馬陸兼收撰溯元康省
繁均失而謹嚴簡核務觀較優

聖謨孔彰學力宜審矣粵自夢龍入水刻鯉挂竿賦月
僧來詠燈詩雋甜梅飲泣稱受禪之老臣玉李團枝定
昇元之新格瞻帝容則龍行虎步一怒安民昭儉德則
烏舅金奴三分創業方且謂同軌同文勢行破竹卜年
卜世基肇縣瓜矣而乃龜頭殿小閤嗅藕華鳴尾宮墟
慣生蓮菌白蝦浦之奔鴉啓兆朱雀橋之戰馬空羣九

史部 傳記類 聖賢之屬

孔子編年五卷

宋 胡仔 撰 清 胡培翬 校注 嘉慶二十三年

續溪胡氏 刊本 金紫家祠藏版 1冊

「徐聖秋讀書記」 白文長方印

孔子編年卷一

宋 續溪胡仔元任 撰

孔子之先宋人也武王克商以商遺民封紂之子
武庚以奉湯祀及武庚與管蔡叛成王命周公誅
之以紂之庶兄微子啓爲商後封于宋微子啓卒
立其弟衍是爲微仲微仲卒子宋公稽立宋公稽
卒子丁公申立丁公申卒子湣公共立湣公共卒
弟煬公熙立湣公長子曰弗父何何之弟鮒祀弑
煬公以國授何何弗受鮒祀立是爲厲公而何世

史部 傳記類 聖賢之屬

孔子編年四卷 孟子編年四卷

清 狄子奇 撰 道光十年 溧陽狄氏安雅齋 刊本

江寧府藏板 4冊



「容周徑七萬五千里之咫尺簞藏」朱文長圓印
「書□□記□□」朱文方印

史部 傳記類 聖賢之屬

聖門十六子書

清 馮雲鵬 輯

道光十二年 崇川馮雲鵬 校刊本

昌平書院藏板

6冊 有馮雲鵬圖記

「馮雲鵬」白文方印

「晏海」朱文方印

200

聖門十六子書序

東之杏學堂京都研究所



崇川馮集軒明府宰吾邑者六年政成民
和風俗淳樸下車之日首以興學校為務士
之生斯土者莫不雅歌絃誦濯磨令德雍
容揄揚相與有成壬辰秋四氏學學博以
兩廡從祀先儒年代先後有失次者具文申

史部傳記類 聖賢之屬

闕里文獻考一百卷 末一卷

清 孔繼汾撰 光緒十七年 湘陰李氏 重刊本 12冊

「味青齋藏書」 朱文方印

4095

闕里文獻考卷三十四
藝文第十二之三

東方各學院京都研究所

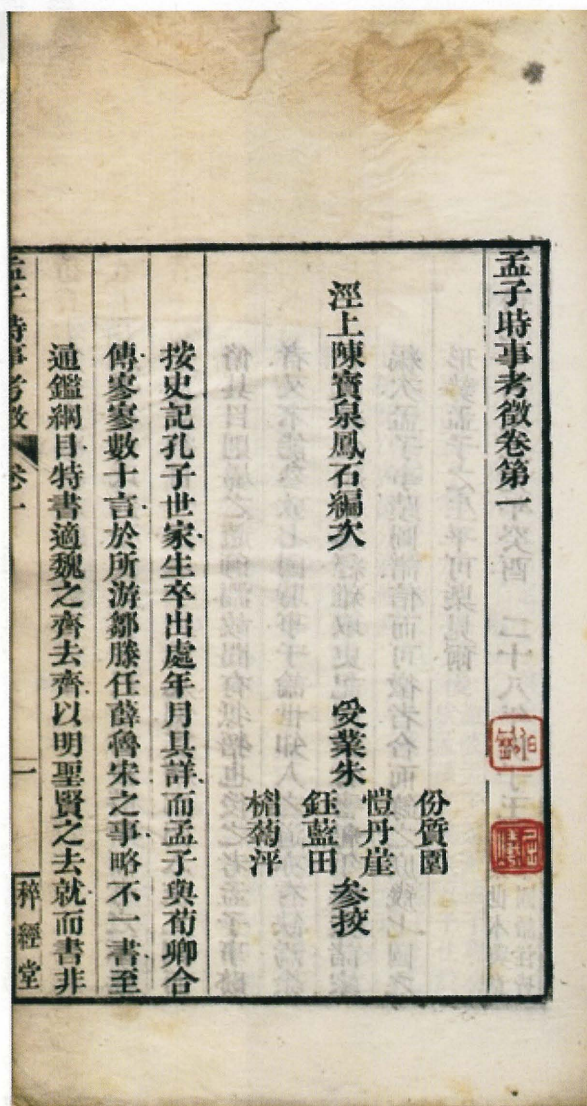
唐裴孝智撰文宣王廟門記 成域中之大歸天下之往曰王王者
應祿以宰物酌時以觀化威聲雷霆號令風雨不嚴人理合自然之
運不行家至契如神之速德叶協於幽明道徜徉於古始無爲無事
其大矣哉泊乎澆漓旣變仁義斯起偃息庠序棲遲泗憲章萬物
之首馳騁百王之末清瀾波於幽厲扇儒術於殷周故春秋作而賊
亂懼風興刪而廉恥生美韶濩而忘嚙之音息行揖讓而莊敬之心
勸夫子聖者與名與日月周流業與乾坤終始隱焉而光闇然而章
命服袞裳累代稱王曲阜聖人之鄉也先是闕宮霞敞正殿岑立繞
以環堵遶其臺門巍若化造巖如動允所謂淹中之勝槩闕里之
全模刺史孟公休鑒德潤尊師道肥希聖研精百氏淫羣言夜火

史部 傳記類 聖賢之屬

孟子時事考徵四卷

清 陳寶泉 撰 嘉慶八年序 粹經堂 刊本 2 冊

「伯剛」 朱文方印
「屈熾」 白文方印

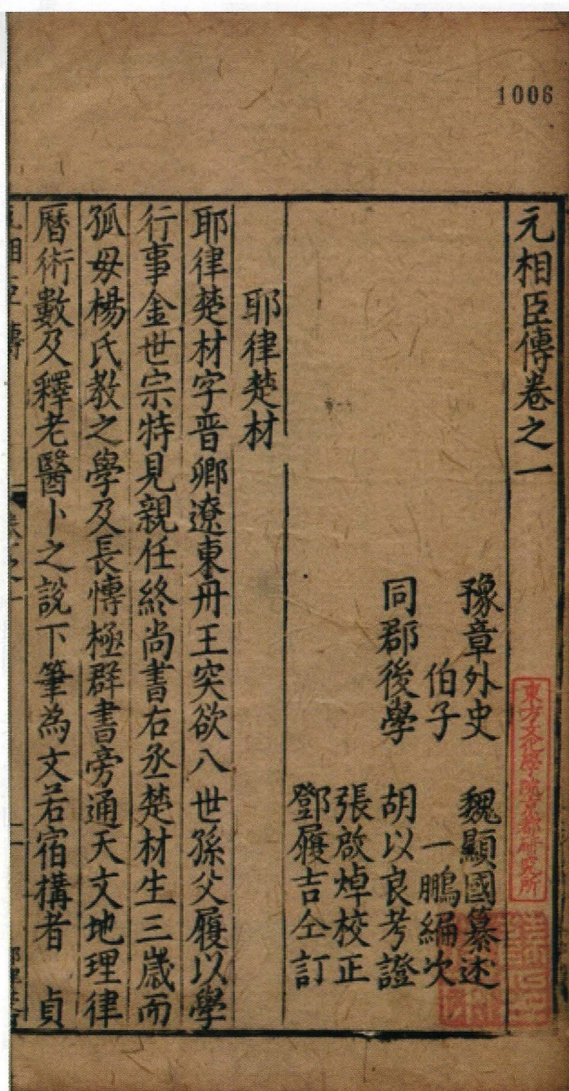


史部 傳記類 總錄之屬

元相臣傳十二卷

明 魏顯國 撰 明 刊本 6 冊

「薛時雨印」 白文方印



史部 傳記類 總錄之屬

元相臣傳十二卷

明 魏顯國 撰 明 刊本 6 冊

「慰農」 朱文方印

自經

死耳家人莫不嘆息泣下已而普顏不花二
各抱幼子及婢妾溺舍南井死比阿魯真欲下
填咽不可容遂抱子投舍北并其女及妾女孫女皆
隨溺焉是時有申榮者平章山東行省守東昌榮見
列郡皆降告其父曰人生世間不能全忠孝者見也
父曰何為榮曰城中兵少不敵戰則萬人之命由見
而廢但有一死報國耳遂自經

史部 傳記類 總錄之屬

國朝列卿紀一百六十五卷

明 雷禮 撰 巡按直隸監察御史豐城徐鑒 校刊本

80冊

「蔭坪許氏家藏」 朱文長方印

國朝列卿紀卷之一

東方學堂藏書

柱國少傅兼太子太傅工部尚書豐城雷

禮纂輯

提督應安等府學校監察御史同邑徐 鑒校梓

中書省序

夫中書之官舊矣自漢武帝遊宴後庭命宦者典事尚書謂之中書謁者置令僕射元帝時令弘恭僕射石顯秉勢用事蕭望之以爲中書政本宜以賢明之選更置士人不報成帝建始四年更以士人爲之屬少府東京省中謁者令官至魏武帝置秘書令典尚書奏事歷文帝黃初四年改爲中書令置省掌機密及明帝時中書監令號爲專任其權重矣沿晉宋梁陳凡國之

史部 傳記類 總錄之屬

國朝列卿紀一百六十五卷

明 雷禮 撰 巡按直隸監察御史豐城徐鑒 校刊本

80冊

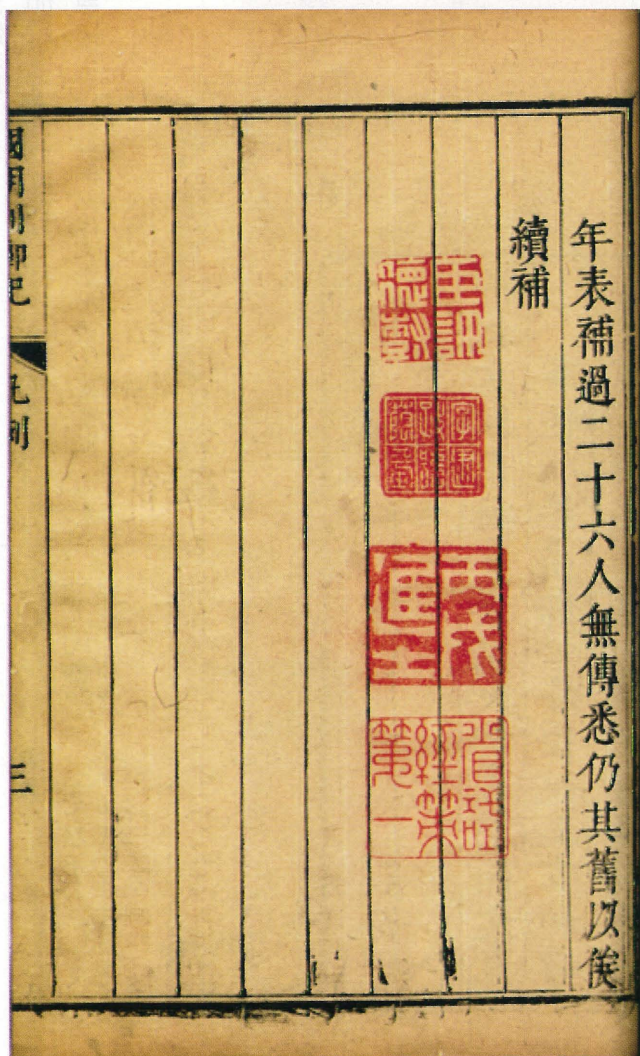
「臣許德樹」白文方印

「字逮孜號蔭坪」白文方印

「丙戌進士」白文方印

「省試經策第一」朱文方印

年表補過二十六人無傳悉仍其舊以俟
續補



史部傳記類總錄之屬

今獻備遺四十二卷

明項篤壽撰 萬曆十一年 秀水項氏萬卷堂刊本
16冊

「王氏書印」朱文方印

1085

今獻備遺叙

世譚

昭代文獻者無慮數家大都畧同而文直
事核則端簡鄭公名臣記及古和雷
公列傳為詳其他諸家皆可觀採而
抵牾同異罕有統歸微隱節槩亦多
踈濶間或委巷叢蔽幽蔀俚雜譏夫
嫁禍之口諛墓媚竈之篇文既不闕

東方花學院京都研究所

王氏書印

史部 傳記類 總錄之屬

從政觀法錄三十卷

清 朱方增 撰 道光十年自序 刊本 10 冊

「綠意軒」朱文長方印

從政觀法錄卷一

大學士范文程

海鹽朱方增輯

范文程瀋陽人少好讀書穎敏沉毅爲諸生熟當世之務天命三年大兵克撫順

太祖高皇帝見而器之使從後隸漢軍廂黃旗崇德初授秘書院大學士時八旗置都統衆推文程

太宗曰此職一軍耳朕方資爲心膂其別議之時文程所領皆樞密事每入對漏下數十刻始出或未及食息復

從政觀法錄

卷一

史部傳記類總錄之屬

從政觀法錄三十卷

清朱方增撰 道光十年自序刊本 10冊

「錢塘陳氏裁芸仙館珍藏」朱文長方印

4037

例言

方增 自授職編修游厯坊局充史館提調纂修官

先後幾二十年仰見

列聖以來知人善任其宣猷中外均足熙

帝載而暢

皇風於是擇其謨猷事實關乎

朝章掌故

國計民生者隨時錄存積成卷帙既資考覈尤切觀

摩昔魏弱翁欲習知漢事李贊皇貴練習舊章顏

曰從政觀法錄竊本此義

從政觀法錄

例言

東方大學院京都研究所

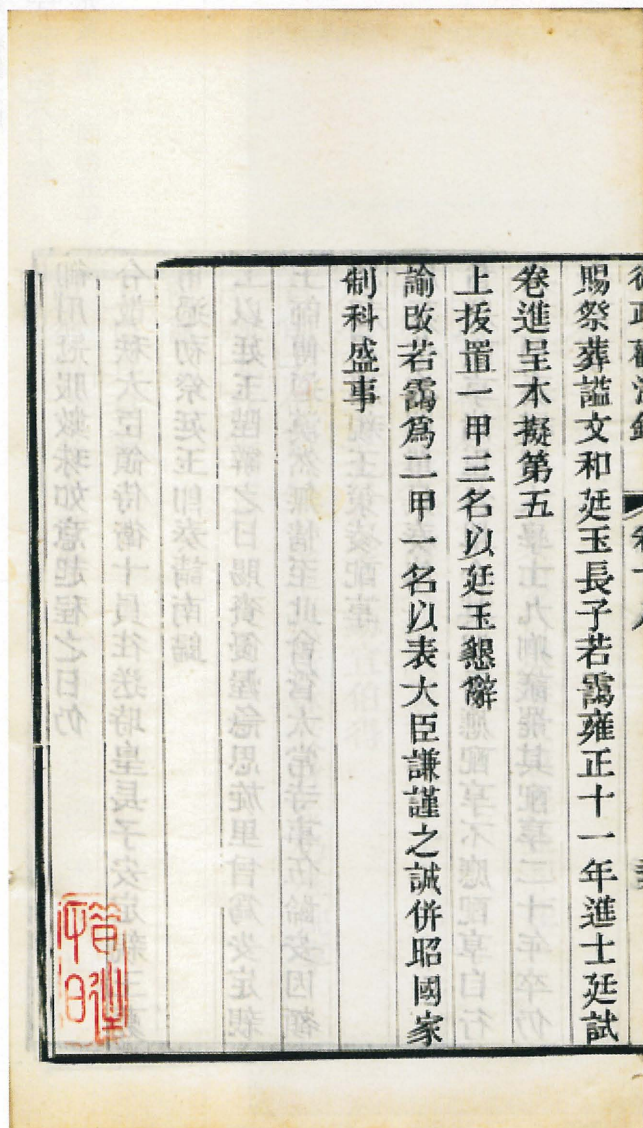
錢塘陳氏裁芸仙館藏

史部傳記類總錄之屬

從政觀法錄三十卷

清朱方增撰 道光十年自序 刊本 10冊

「惜咼」朱文方印



史部 傳記類 總錄之屬

國朝先正事略六十卷

清 李元度 撰 同治五年 循陔艸堂 刊本 24冊

「皖湖葉氏珍藏」 朱文方印

1993

李習之嘗歎魏晉以後文字黷昧雖有殊功偉德非前之蹟亦
闇鬱而不章而昌黎韓子則嘗欲作唐六經垂之於無窮好
諛於既死發潛德之幽光論者謂其書若成當不在龍門扶風
下惜乎其未就也宋朱子撰言行錄取前世名臣事蹟件件而
條綴之爲後世法文雖不迫昌黎而扶翼世教厥功殊矣嗣是
杜大珪有名臣碑傳錄蘇天爵有元名臣事略徐鉉有明名臣
琬炎錄項篤壽有今獻備遺皆祖述朱子之意以成書者也我
國家

列聖相承重熙累洽炳焉與三代同風二百餘年名卿鉅儒
達魁壘之士應運而起者不可殫數其奇謨政績具在

國朝先正事略

東方不學院京都研究所

史部傳記類總錄之屬

尚友錄二十二卷

明 廖用賢 撰 天啓元年序 刊本 22冊

「□□」白文小印

「越知氏」白文長方印

1090

尚友錄序

集古說統譜等書數十種而莫
繁緝漏便類訂訛搜奇叢嫩每
一翻披欣然神往此廖生所為
尚友錄也始予令樊川得生試
讀異焉揣之曰是殆破萬卷而
纖塵無點者慷慨道上自是天



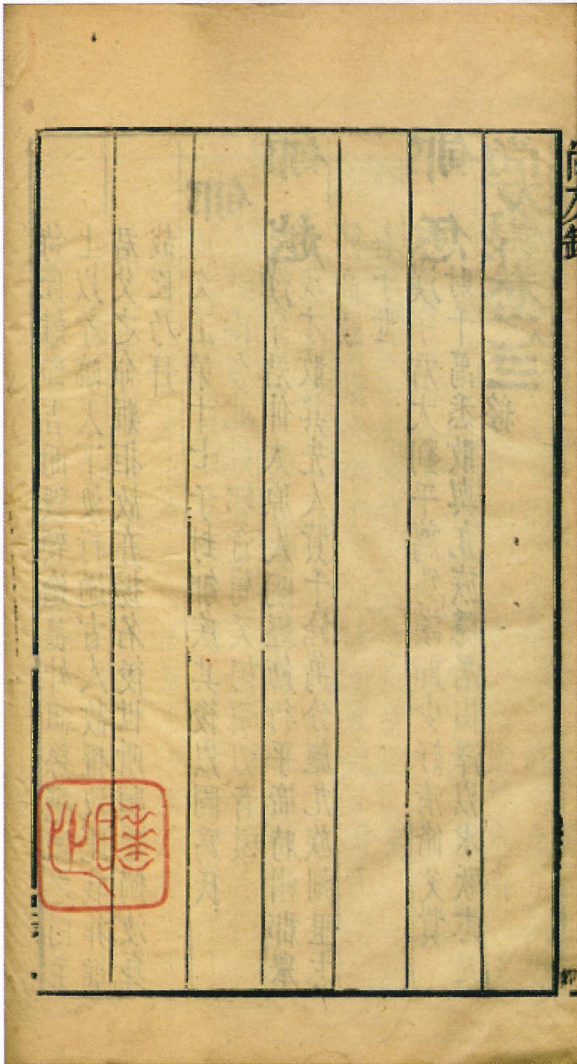
東方文庫藏書

史部傳記類總錄之屬

尚友錄二十二卷

明廖用賢撰 天啓元年序 刊本 22冊

「睡心」朱文方印

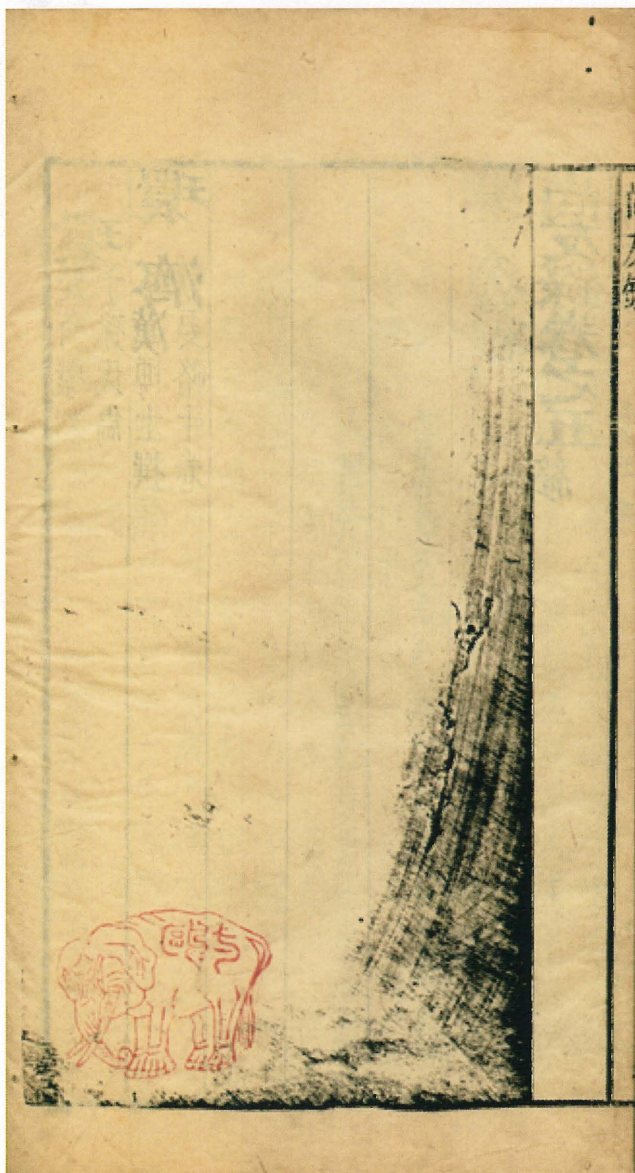


史部傳記類總錄之屬

尚友錄二十二卷

明廖用賢撰 天啓元年序刊本 22冊

「與鷗」朱文象形印

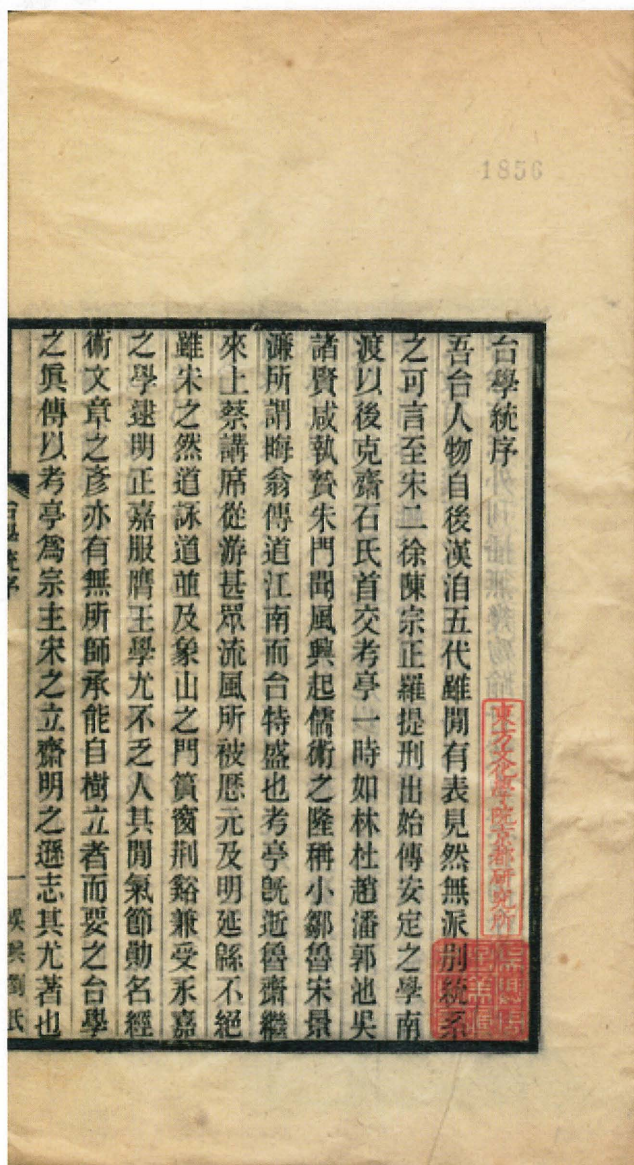


史部 傳記類 鄉賢之屬 浙江

台學統一百卷 敍錄一卷

清 王綦 撰 民國七年 吳興劉氏嘉業堂 刊本 40 冊

「吳興周子美藏書之記」 朱文方印

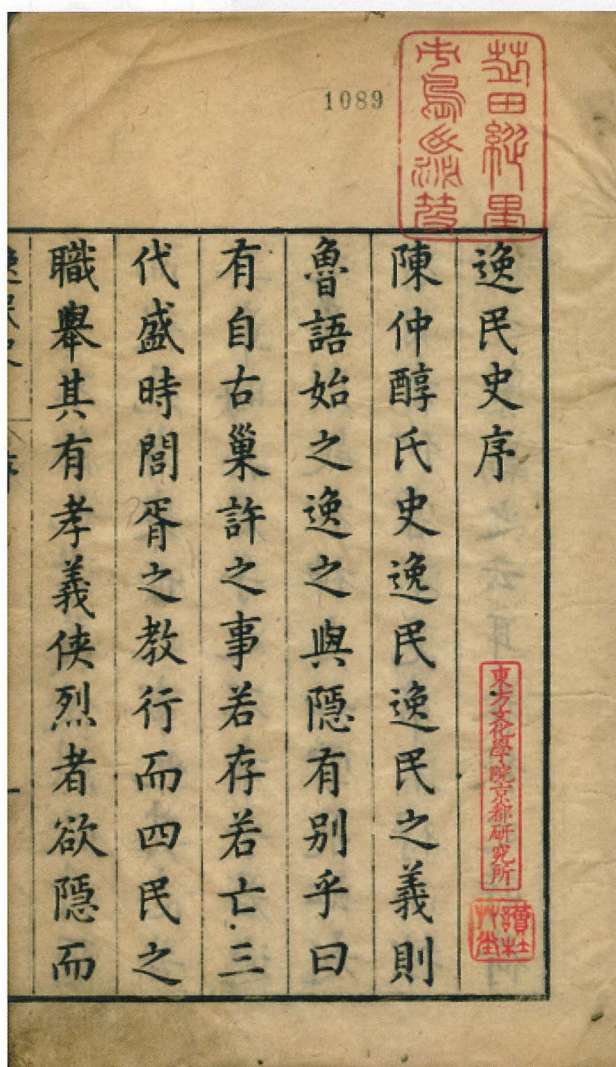


史部 傳記類 雜傳之屬 獨行

逸民史二十二卷

明 陳繼儒 撰 萬曆三十一年序 刊本 12册

「芝田縱里市島氏祕笈」 朱文長方印
「讀杜艸堂」 朱文方印



史部傳記類雜傳之屬列女

古列女傳七卷 增續列女傳一卷 增攷證一卷

漢 劉向撰 □ 闕名撰續 清 顧廣圻撰攷證 乾隆

六十年 元和顧氏小讀書堆 據宋建安余氏勤有堂本重刊

4册

「董子」朱文方印

「宗善」朱文方印

列女傳攷證

古列女傳序

貞慎慎順古字通

而圖爲屏風云此據頌云也然世所行班氏

注向書乃分傳每篇上下并頌爲十五卷按此與

同曹大家注本固相傳如此矣題其頌日向子歆撰此漢人談題之耳歆別

向頌不相蒙今文選思元賦李注引劉歆列女傳頌材女修身廣觀善

惡二句正向頌所無期其明證矣又按顧氏家訓言其子歆又作頌言

又者又每篇皆十五傳耳按今每篇篇止十四傳以齊風正

向頌也也正義云列女傳魯師氏之母齊姜戒其女曰平旦纓笄而朝則有君

臣之嚴莊廿四年何休注其言與列女傳同云云便樂具此全文不可

復得矣據此序及下目則王阿恭驥本皆尚有之未詳於何時也宜皆非向所奏書顧氏家

傳劉向所造其子歆又作頌終于趙悼倡后而傳有更訓列女

始韓夫人明德馬后及梁夫人懸後人所撰非本文也頌云畫之

屏風段君曰此恭驥所云頌義大序之一句也今而史有頌圖

列女

一

史部 傳記類 雜傳之屬 列女

古列女傳七卷 均續列女傳一卷 均攷證一卷

漢 劉向 撰 □ 闕名 撰續 清 顧廣圻 撰攷證 乾隆

六十年 元和顧氏小讀書堆 據宋建安余氏勤有堂本重刊

4
冊

「董家宗善臧書」 朱文方印

注十五卷宋時具存今竟亡矣而宋以前人注
書及所輯類書頗多援引者異日仍當蒐羅審
擇都爲一編以傳梗槩焉嘉慶元年十二月廿
三日元和顧之達抱冲甫跋



史部 傳記類 雜傳之屬 列女

列女傳校注七卷 續列女傳校注一卷

清 梁端 撰 道光十七年 錢唐汪氏振綺堂 刊

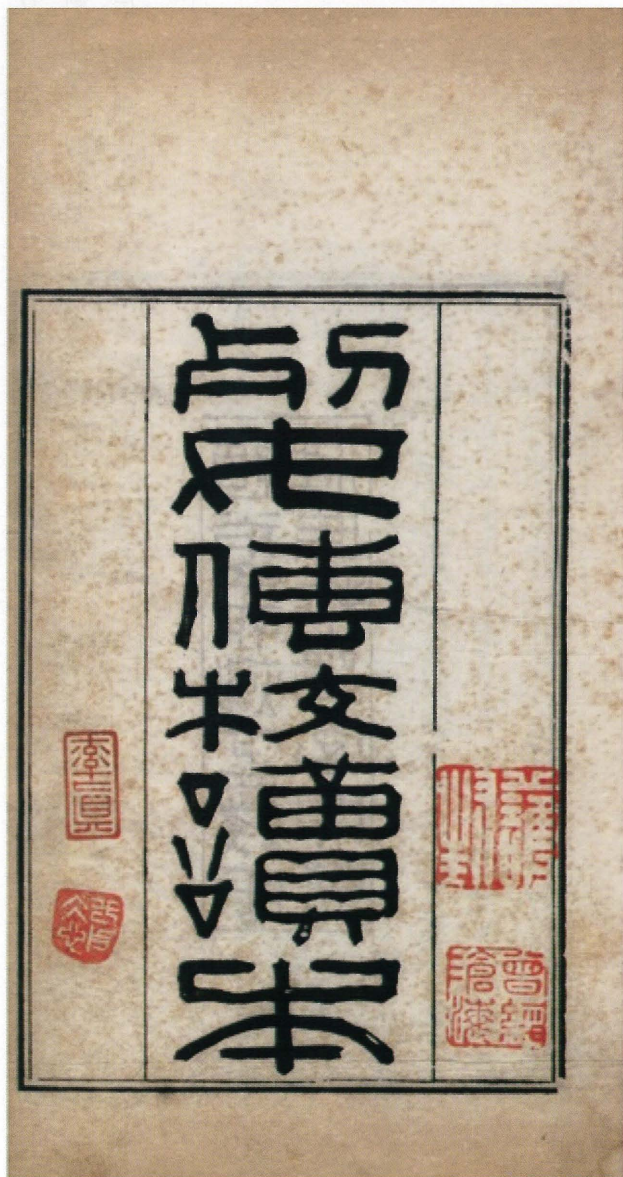
同治十三年 補刊本 2 冊

「護封」 白文方印

「曾經滄海」 朱文方印

「率真」 朱文長方印

「弋片冰心」 白文印



史部 傳記類 雜傳之屬 列女

列女傳校注七卷 續列女傳校注一卷

清 梁端 撰 道光十七年 錢唐汪氏振綺堂 刊

同治十三年 補刊本 2冊

「護封」 白文方印

「率真」 朱文長方印

「曾經滄海」 朱文方印

「知足長樂」 白文方印

「式片冰心」 白文印

3482



列女傳卷之五

節義傳

魯孝義保

錢塘梁端無非校注

東方文化學院京都研究所

孝義保者魯孝公稱之保母臧氏之寡也事見公羊傳大同小異
初孝公父武公與其二子長子括中子戲朝周宣
王宣王立戲為魯太子武公薨戲立是為懿公孝
公時號公子稱最少義保與其子俱入宮養公子
稱括之子伯御與魯人作亂攻殺懿公而自立求
公子稱於宮將殺之義保聞伯御將殺稱乃衣其
子以稱之衣卧於稱之處太平御覽人事部六十三處上有臥字伯御殺之
義保遂抱稱以出遇稱舅魯大夫於外舅問稱

史部 傳記類 自序之屬

曾文正公手書日記不分卷

清 曾國藩 撰 宣統元年 上海中國圖書公司 石印本

40冊

鄧同盒

「無玄盒」 白文方印

「述簪」 朱文方印

序

古有左右史以記言動簡策之文未有先於日記者也儒
學家乃為日鈔以自策厲自宋以後人有其編黃東發最
宏富而非日記之體名人日記存者率不過百數十葉近歲
李花客始以巨冊自誇而余亦存日記三千餘葉然皆章
句鉅釘閣里瑣小之事不足示大雅君子往從
曾文正軍府十九年得見其京師日記及軍中在秀見其

東方文化學堂藏書研究所



4150

史部傳記類 記言記事之屬

宋名臣言行錄補編八卷

清 蔡紹江 撰 道光十九年 韓城強氏 刊本 2 冊

「晉安郭穀齋金石書畫記」 朱文長方印

宋名臣言行錄補編卷一

虞允文

字彬甫四川仁壽人孝宗乾道閒仕至左丞相封雍國公諡忠肅

公初生戶外有奇光六歲誦九經十歲作詩多驚人語及長丰采雄偉言動有度識者知非常人事親極孝母喪朝夕哭墓側有鳥來巢枯桑以廕入官念父鰥且疾日侍左右不赴調者七年父終始成進士被薦召對首言士風日敝以文章進必抑其輕浮以言語進必黜其巧僞以政事進必去其苛刻

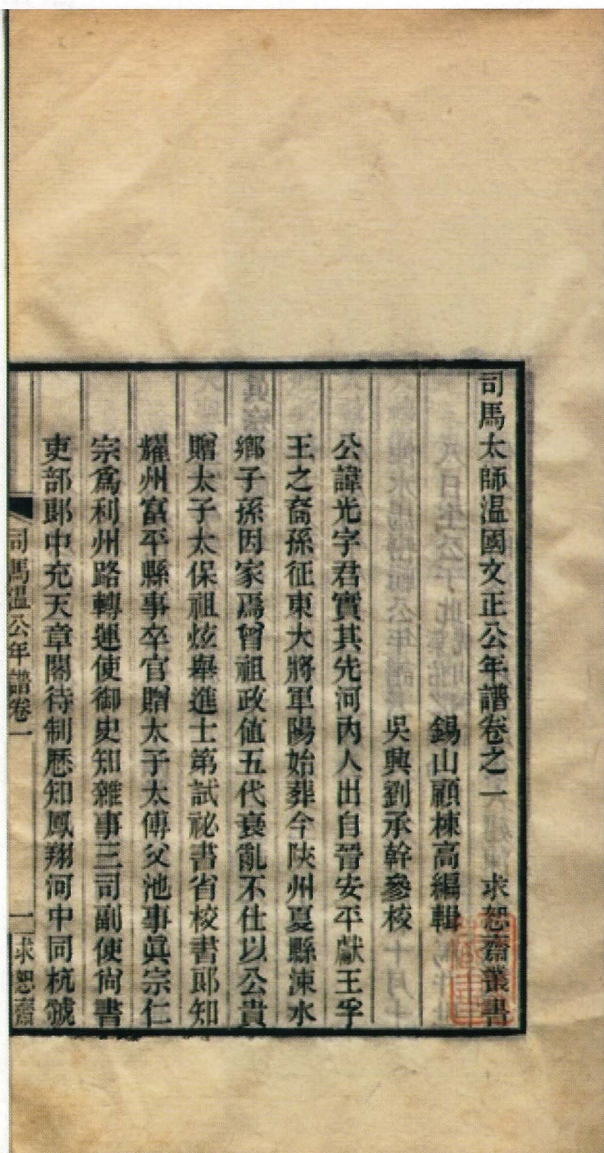
史部傳記類 年譜之屬 北宋

司馬太師溫國文正公年譜八卷 卷後一卷
遺事一卷

清顧棟高撰 民國六年 南林劉氏求恕齋刊本 求恕齋叢書之一

4冊

「子美藏書」朱文長方印



司馬太師溫國文正公年譜卷之一 求恕齋叢書

錫山顧棟高編輯

吳興劉承幹參校

公諱光字君實其先河內人出自晉安平獻王孚

王之裔孫征東大將軍陽始葬今陝州夏縣涑水

鄉子孫因家焉曾祖政值五代衰亂不仕以公貴

贈太子太保祖炫舉進士第試祕書省校書郎知

耀州富平縣事卒官贈太子太傅父池事真宗仁

宗爲利州路轉運使御史知雜事三司副使尙書

吏部郎中充天章閣待制歷知鳳翔河中同杭號

司馬溫公年譜卷一

求恕齋

史部 傳記類 年譜之屬 北宋

王荊國文公年譜三卷 卷後一卷 遺事一卷

清 顧棟高 撰 民國六年 南林劉氏求恕齋 刊本

求恕齋叢書之一 2冊

「子美藏書」 朱文長方印

王荊國文公年譜卷上

求恕齋叢書

公年譜卷上 錫山顧棟高編輯

公年譜卷上 吳興劉承幹參校

公姓王氏諱安石字介甫撫州臨川人其先出太

原不知始所以徙曾祖諱明以子觀之貴贈尚書

職方員外郎祖諱用之衛尉寺丞祖妣謝氏封永

安縣君父諱益初字捐之年十七以文見張忠定

公詠于昇州一見稱賞爲改字舜良祥符八年進

士初任建安主簿判臨江軍出領新淦縣知廬陵

縣移知新繁所至有聲改殿中丞尋知韶州改太

王荊公年譜卷上

一求恕齋

史部 傳記類 年譜之屬 金

金稷山段氏二妙年譜二卷

孫德謙 撰 民國四年 南林劉氏求恕齋 刊本

求恕齋叢書之一 1冊

「周延年印」朱文方印

「子美」朱文方印

2174

序

東方花學院京都研究所

圖書

印

四皓隱商雒今洞庭閒乃有角里綺里東村遺蹟在焉
吾獨怪紫芝之歌未終而出定漢儲爲多事益菴先生
爲吾言亭林氏嘗謂後世逸民朝詠采薇夕喜奉檄迹
涉於僞蓋亦深病夫言不顧行先貞後黷者之不絕於
世也先生東吳文學少治南開祭酒之書久之私淑會
稽章氏遂究心諸子家言能辨章徑術窮竟原委成諸
子通考暨通義要略諸作皆自闢奧窔足以啟牖來學
性耿介不樂仕進嘗刻願景蕃志道集以見志又喜讀
陶公詩欲訂正其年譜未成成稷山段氏二妙年譜以

二妙年譜序

一求恕齋

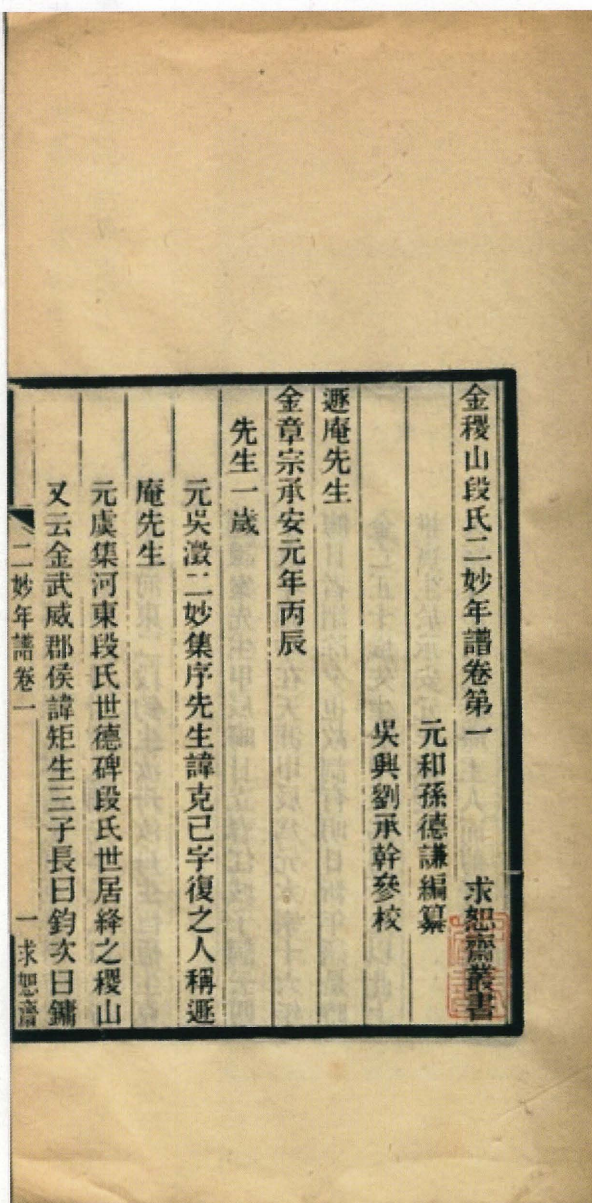
史部 傳記類 年譜之屬 金

金稷山段氏二妙年譜二卷

孫德謙 撰 民國四年 南林劉氏求恕齋 刊本

求恕齋叢書之一 1 冊

「子美藏書」朱文方印



史部傳記類年譜之屬

明李文正公年譜七卷

清法式善撰清唐仲冕增補

嘉慶九年蒙古法式詩龕重刊本 4冊

「劉氏臧收圖書」朱文長方印

3264

明李文正公年譜序

東方花學院京都研究所

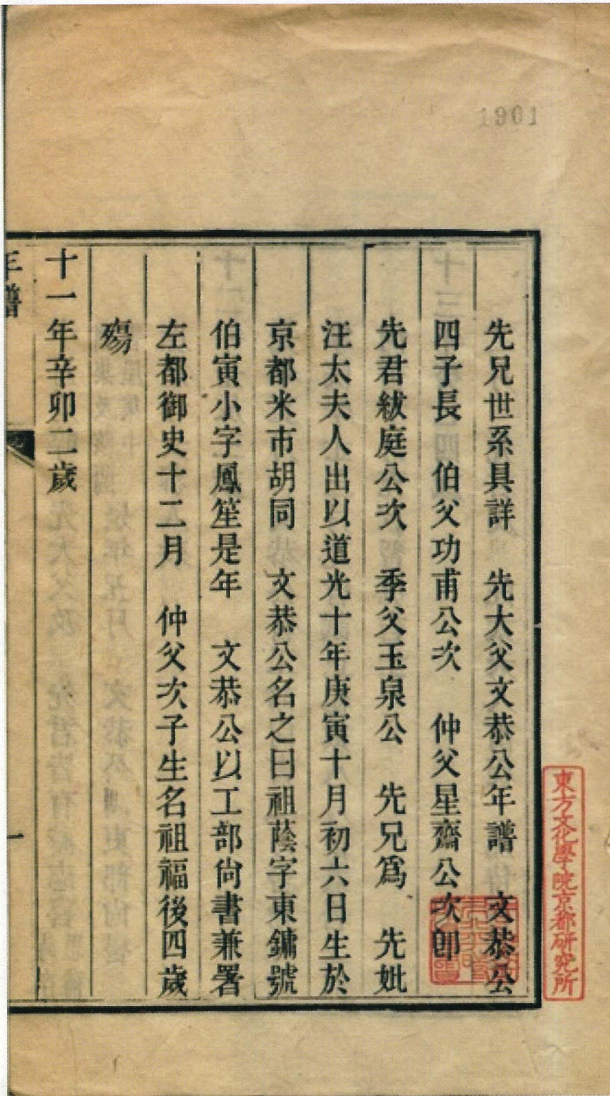
涯翁生平心迹余嘗於詩文中數數及之年譜之輯始
意主簡核暢甫既序刻於揚州綴以拙文復據麻太夫
人九十壽言冊證紀載之有訛失暢甫雄才卓識其言
或不誣余邇來修書 殿閣逸文秘本往往而在因備
採涯翁事實釐爲七卷重鐫板於京師或且以徵引繁
富爲嫌然使識涯翁議涯翁者皆有所折衷焉此固區
區用心之所在與世所傳懷麓堂集本校刊殊不精漫
漶已久余欲刪其重複一其體例合前續稿甄綜之仍
釐爲百卷付剞劂氏年譜當附後以行未知此願何日

史部 傳記類 年譜之屬

潘文勤公年譜一卷

清 潘祖年 撰 刊本 1 冊

「吉川幸居北平時所得書」 朱文方印

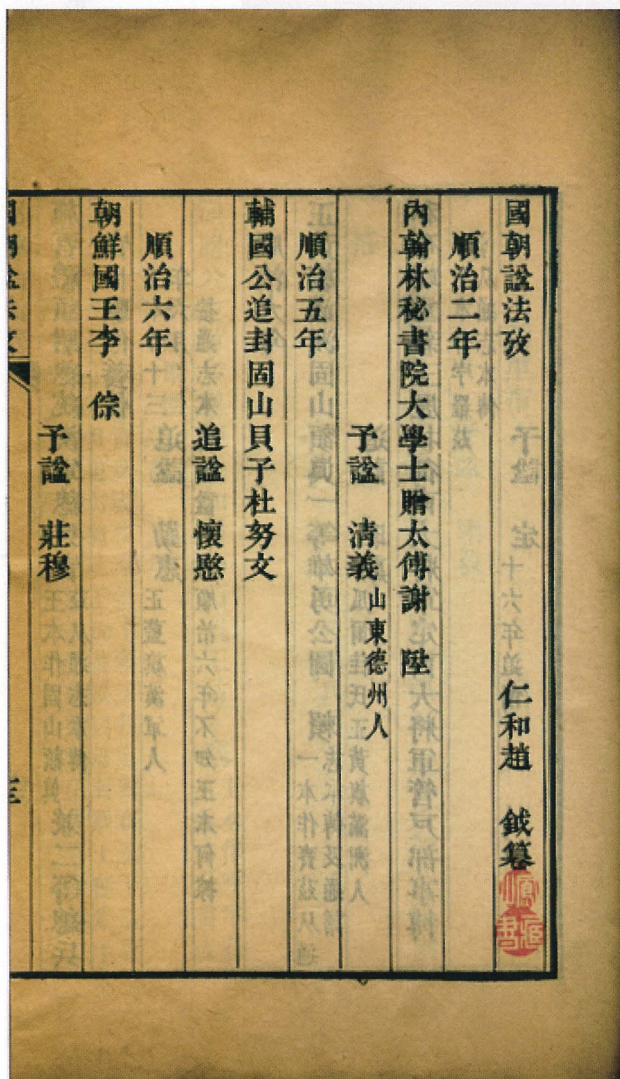


史部 傳記類 姓名年齒之屬

國朝諡法攷不分卷

清 趙鉞 撰 道光十一年 世美堂 刊本 2 冊

「鳳山臧書」白文瓢形印



史部 傳記類 姓名年齒之屬

疑年錄四卷 增續疑年錄四卷 增補一卷

清 錢大昕 撰 清 吳修 撰續補

嘉慶十八年 海鹽吳氏 刊 嘉慶二十三年 補錄本

2 冊

「金昌燕印」 白文方印
「白芑」 朱文方印

疑年錄卷一

嘉定錢大昕辛楣編

海鹽吳 修子修校



鄭康成七十四

生永建二年丁卯

卒建安五年庚辰

荀慈明六十三

爽

生永建三年戊辰

卒初平元年庚午

虞仲翔七十

翻

生漢延熹七年甲辰

史部 傳記類 姓名年齒之屬

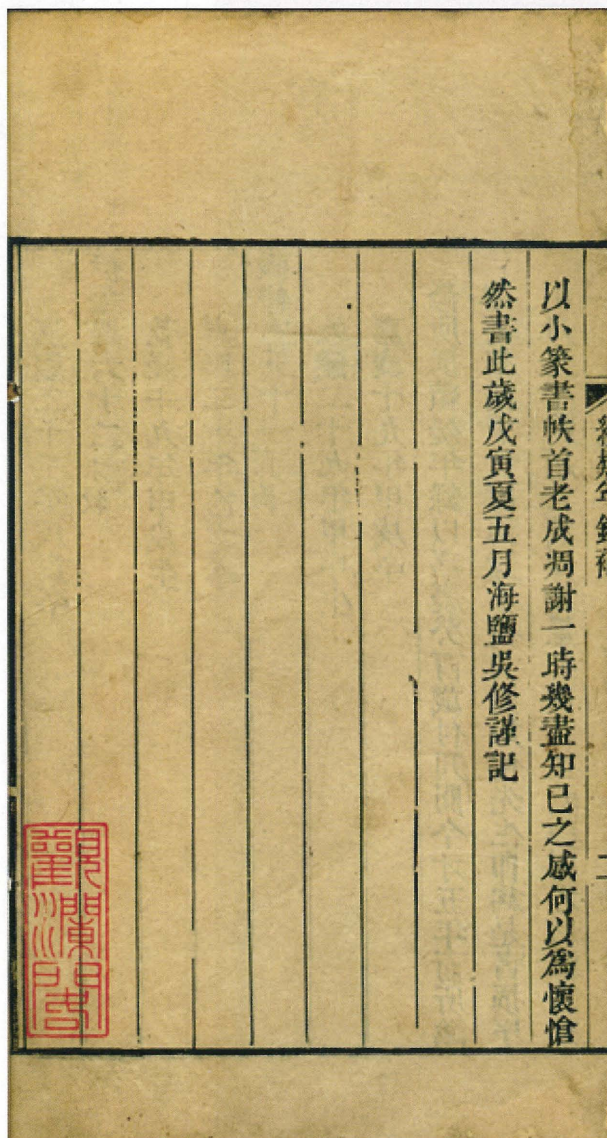
疑年錄四卷 增續疑年錄四卷 增補一卷

清 錢大昕 撰 清 吳修 撰 續補

嘉慶十八年 海鹽吳氏 刊 嘉慶二十三年 補錄本

2 冊

「觀瀾閣」朱文長方印



【shan】	
山海經廣注·····	21
【shang】	
尚友錄·····	75-77
【sheng】	
勝朝遺事·····	53, 54
聖門十六子書·····	63
【si】	
司馬太師溫國文正公年譜·····	86
【song】	
宋名臣言行錄補編·····	85
【tai】	
台學統·····	78
【wang】	
王荊國文公年譜·····	87
【xiang】	
湘軍記·····	16
【yan】	
弇州史料·····	48-51
晏子春秋·····	23
【yi】	
逸民史·····	79
疑年錄·····	93-95
【yuan】	
元秘史李注補正·····	37, 38
元相臣傳·····	66, 67
【zeng】	
曾文正公手書日記·····	84
增訂吳越備史·····	57

【zhao】	
昭代典則·····	5
【zhu】	
竹書穆天子傳·····	22

書名索引

【chang】

長安宮詞……………55

【cong】

從政觀法錄……………71-73

【dong】

東都事略……………33-35

東華續錄……………9

【gu】

古列女傳……………80, 81

古史……………24-30

【guo】

國朝列卿紀……………68, 69

國朝柔遠記……………17

國朝謚法攷……………92

國朝先正事略……………74

國語校注本三種……………19, 20

國語正義……………18

【hong】

弘簡錄……………43, 44

【huang】

皇朝編年備要……………1-3

皇明續紀……………4

皇清開國方略……………15

【ji】

紀載彙編……………52

【jian】

建文朝野彙編……………39, 40

【jin】

今獻備遺……………70

金稷山段氏二妙年譜……………88, 89

【kong】

孔子編年……………61

孔子編年孟子編年……………62

【li】

李氏藏書……………45-47

【liang】

兩朝從信錄……………6, 7

【lie】

列女傳校注……………82, 83

【long】

隆平集……………31, 32

【man】

滿洲名臣傳……………42

【meng】

孟子時事考徵……………65

【ming】

名山藏……………41

明紀……………8

明李文正公年譜……………90

【nan】

南宋書……………36

南宋雜事詩……………56

南唐書……………58-60

【pan】

潘文勤公年譜……………91

【que】

闕里文獻考……………64

【san】

三朝北盟會編……………10-14

【xu】	
徐聖秋讀書記·····	61
許大霖原名南藩印·····	54
【xue】	
學須靜室·····	5
薛時雨印·····	66
【ya】	
亞侯·····	23
【yan】	
延陵世家·····	4
衍堂一字德潛·····	53
晏海·····	63
崦西艸堂·····	12
【ye】	
埜巢草堂臧書之印·····	19
葉啓藩臧·····	49
葉氏德輝鑒臧·····	49
【yi】	
式片冰心·····	82, 83
儀徵田氏種荊山房藏書印·····	21
執風堂藏書·····	6
【yin】	
蔭坪許氏家臧·····	68
【you】	
有筠·····	28
【yu】	
與鷗·····	77
【yuan】	
沅叔臧書·····	14
沅叔金石文字·····	12

【yue】	
越知氏·····	75
【yun】	
雲輪閣·····	7, 56
【zhang】	
張月霄印·····	11
【zhao】	
趙宗建印·····	59
【zhi】	
芝田縱里市島氏祕笈·····	79
知足長樂·····	83
【zhou】	
周延年印·····	88
【zhu】	
朱士楷印·····	38
【zi】	
子美·····	88
子美藏書·····	86, 87, 89
字逮孜號蔭坪·····	69
【zong】	
宗善·····	80
【zuo】	
作柄·····	32
□□山房·····	42
□讓協記·····	42
□□·····	75

【ping】	
平湖屈氏一卷書塾所藏·····	37
【qian】	
錢塘陳氏裁芸仙館珍藏·····	72
【qing】	
青宮少保·····	15
清風·····	41
【qu】	
屈熾·····	65
【quan】	
荃孫·····	7, 56, 57
【rong】	
容周徑七萬五千里之咫尺簞藏 ·····	62
【sheng】	
省試經策第一·····	69
【shi】	
師竹居書畫記·····	26, 27
【shu】	
述簞·····	84
書□□記□□·····	62
【shuai】	
率眞·····	82, 83
【shuang】	
雙鑑樓藏書記·····	13
雙鑑樓主人·····	14
【shui】	
睡心·····	76

【si】	
四庫箸錄·····	33
寺田·····	36
【sun】	
孫兪楨印·····	52
【tong】	
桐蔭山館·····	8
【wan】	
皖定書帶草堂鄭氏藏·····	18
皖湖葉氏珍藏·····	74
【wang】	
王士禎印·····	51
王氏書印·····	70
【wei】	
味青齋藏書·····	64
慰農·····	67
【wen】	
文學侍從之臣·····	51
【wu】	
五經史漢傳家·····	31
吳興周子美藏書之記·····	78
武昌柯逢時收藏圖記 ·····	22, 24, 27, 60
無玄盒·····	84
【xi】	
西白山房藏書·····	19
惜咍·····	73
【xiang】	
鄉邦文獻所繫·····	37
【xin】	
新都今事廬汪氏藏書·····	39, 40

甘氏語藥所臧……………43

【gao】

高淳縣儒學記……………46

【gu】

古苑敦仁堂張氏臧書……………45

【guan】

觀古堂……………49

觀瀾閣……………94

【hai】

海栗園臧書……………5

【han】

漢唐齋……………1

【hu】

笏齋……………2

護封……………82, 83

【huan】

奐份審定……………48

【hui】

會心不遠……………50

【ji】

吉川幸居北平時所得書……………91

吉林索綽絡氏……………5

【jia】

家住剡溪第二泉……………20

【jiao】

茶坡潘介繁珍藏之印……………11

【jin】

今西龍……………6

金昌燕印……………93

金弟……………23

金氏基大……………41

晉安郭穀齋金石書畫記……………85

【jing】

荊門胡氏……………32

經過陶在東家……………34

【ju】

架臣……………39

【li】

立成堂……………47

立成堂臧書……………47

李家清駢……………5

禮臣……………16, 55

【lin】

林照……………30

【liu】

劉氏臧收圖書……………90

【lu】

鹿園居士……………29

【lü】

綠意軒……………71

【ma】

馬玉堂……………2

【mi】

祕冊……………11

【nai】

乃今日之介也……………13

【pan】

潘茶坡圖書印……………10

潘氏桐西書屋之印……………10

藏書印索引

- 【ai】
愛日精廬藏書……………11
- 【bai】
白芑……………93
- 【bi】
碧山柏氏……………10, 14
碧香居士……………8
- 【bing】
丙戌進士……………69
- 【bo】
伯豐……………41
伯剛……………65
- 【cang】
藏園祕笈……………10
- 【ceng】
曾經滄海……………82, 83
曾在甘語藥處……………44
- 【chang】
長春室主……………11
常孰趙閭鄉家藏……………58
- 【chen】
臣李堂印……………15
臣許德樹……………69
- 【ci】
慈谿畊餘樓……………25
慈谿畊餘樓藏……………24, 26, 27
賜本……………15
- 【da】
大司成章……………49

- 【dao】
道光壬辰歲武原馬氏漢唐齋收藏書籍
……………3
- 【de】
德輝……………48
- 【deng】
鄧尉山樵……………13
- 【di】
滌性山房主人韓少衡氏珍藏……………17
- 【ding】
丁氏八千卷樓藏書記……………35
丁氏八千卷樓藏書之記……………33
- 【dong】
董家宗善藏書……………81
董子……………80
- 【du】
讀杜艸堂……………79
- 【dun】
敦……………16, 55
- 【fei】
非昔居士……………59
- 【feng】
馮氏辨齋藏書（白文）……………24, 26, 27
馮氏辨齋藏書（朱文）……………25
馮雲鵬……………63
鳳山藏書……………92
- 【fu】
富察恩豐席臣藏書印……………9
- 【gan】

ORIENTAL STUDIES REFERENCE SERIES

No.16

Ex-libris Ownership Stamps on Old Chinese
books housed at Zinbunken, Kyoto
University: Vol.1

DOCUMENTATION AND INFORMATION CENTER
FOR CHINESE STUDIES
INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES
KYOTO UNIVERSITY

2008

〔東方學資料叢刊 第16冊〕

京大人文研藏書印譜（一）

編 者 井 波 陵 一

発行日 2008年 2 月15日

制作者 明文舎印刷株式会社

発行者 京都大學人文科學研究所附屬漢字情報研究センター

〒606-8265 京都市左京區北白川東小倉町47

Tel. 075-753-6996 Fax. 075-753-6999

<http://www.kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>

ORIENTAL STUDIES REFERENCE SERIES

No.16

Ex-libris Ownership Stamps on Old Chinese
books housed at Zinbunken, Kyoto
University: Vol.1

DOCUMENTATION AND INFORMATION CENTER
FOR CHINESE STUDIES
INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES
KYOTO UNIVERSITY

2008